

# MacMP3

Drag-And-Drop Digital Audio For The Macintosh



**act2**  
<http://www.act2.co.jp/>

MacMP3 Version 3  
ユーザーズガイド

---

# MacMP3 Version 3 ユーザーズガイド

2000年11月

株式会社アクト・ツー  
東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル3F

プロダクトマネージャ	Toshiyuki Kohno Sayaka Marumoto
エンジニアリングリード キーエンジニア	Toshiyuki Kohno Cabel Sasser Steven Frank Samuel K. Caughron Nobuhiro Hasegawa
アートワーク	Koji Ishizuka Seiji Katagiri
ドキュメンテーション	Sayaka Marumoto Megumi Mishima
テストングリード サポートリード	Hiroyuki Sugawara Sayaka Marumoto
マーケティングリード	Mikiya Kato Matthew Arney
セールスリード プロダクションリード	Yoshitaka Kagami Ayako Watanabe

MacMP3 の開発にともない、関与いただいた全ての方々に感謝します。

Copyright 2000, act2, Inc. All rights reserved.

MacMP3 は株式会社アクト・ツーの商標です。その他の製品名は各々の所有者の商標または登録商標です。

株式会社アクト・ツーは、万が一、本製品の使用により如何なる損害が生じてもそれを保証するものではありません。本ソフトウェアおよびアップルコンピュータ社のソフトウェアの使用に関するリスクはユーザに帰属します。

---

---

---

---

# 目次

第 1 章:はじめに .....	1
MP3 とは? .....	1
著作権について .....	1
MacMP3 概要 .....	2
エンコーダ .....	2
プレーヤ .....	2
第 2 章:インストール .....	5
システム要項 .....	5
インストール手順 .....	5
第 3 章:今すぐ作ってみよう! .....	9
音楽 CD から MP3 ファイルを作ってみる .....	9
■ 作成方法 1 ■ .....	9
Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ&ドロップ .....	9
■ 作成方法 2 ■ .....	9
プレーヤで音楽 CD を再生しながらエンコード .....	9
■ 作成方法 3 ■ .....	10
エンコーダ画面から方法を選んでエンコード .....	10
MP3 を聴いてみる .....	11
プレーヤの起動 .....	11
プレーヤの基本操作 .....	12
フェイスの選択 .....	12
イコライザ .....	13
プレイリストで再生する .....	14
第 4 章:エンコードについて .....	17
エンコードとは .....	17
エンコード方法 1 .....	17
音楽 CD のトラックをドラッグ&ドロップ .....	17
エンコード方法 2 .....	19
音楽 CD のトラックをダブルクリック .....	19

---

---

エンコード方法 3 .....	19
音楽 CD ごとエンコード .....	19
エンコード方法 4 .....	19
MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ .....	19
エンコード方法 5 .....	20
MacMP3 エンコーダからエンコード .....	20
・音楽 CD を完全にエンコード .....	20
・音楽トラックをエンコード .....	21
・ディスク上のファイルをエンコード .....	21
・オーディオソースをライブエンコード .....	22
エンコード方法 6 .....	22
MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード .....	22
エンコード方法 7 .....	22
CD エクストラからエンコード .....	22
エンコード方法 8 .....	23
AIFF、WAV ファイルからエンコード .....	23
“MacMP3 エンコード” ダイアログ .....	24
中止 .....	24
 .....	24
編集画面 .....	24
MacMP3 エンコーダ .....	26
■ファイルメニュー .....	26
CD をエンコード .....	26
トラックをエンコード .....	26
ファイルをエンコード .....	26
MP3 にレコーディング .....	26
■エンコード設定 .....	26
設定 .....	27
ファイルの保存先 .....	29
エンコーダ .....	30
● MacMP3 .....	30
● MacMP3 Layer2 .....	30
● LAME Encoder .....	30
● AIFF リッピング .....	30
音質 .....	30
ビットレート .....	30

---

---

< “MacMP3 ” “MacMP3 Layer2 ” を選択した場合 > .....	31
< “LAME Encoder ” を選択した場合 > .....	32
モード .....	32
● Stereo .....	32
● Mono .....	33
● Joint Stereo .....	33
● Force Stereo .....	33
保存 .....	33
閉じる .....	33
終了 .....	33
■編集メニュー .....	34
元に戻す .....	34
カット／コピー／ペースト／消去 .....	34
初期設定 .....	34
MP3 プレーヤ .....	34
CD/ ファイル名 .....	34
・ 拡張子を追加する (.mp3, mp2, aiff ) .....	34
・ 保存フォルダ名称 (半角 27 文字以下) .....	35
・ エンコード済みトラック名称 (半角 31 文字以下) .....	35
保存 .....	35
キャンセル .....	35
CDDDB 設定 .....	35
CD 情報の参照 .....	36
・ 常に .....	36
・ オンライン時のみ .....	36
・ 使用しない .....	36
メールアドレス .....	36
CDDDB サーバ .....	36
HTTP プロキシ .....	36
<b>第 5 章: MacMP3 コントロールパネル .....</b>	<b>37</b>
設定 .....	37
<input type="checkbox"/> ドラッグ & ドロップで MP3 にエンコード .....	37
<input type="checkbox"/> トラックのダブルクリックで MP3 にエンコード .....	38
<input type="checkbox"/> 常にエンコード設定を開く .....	38
<input type="checkbox"/> 保存フォルダ名称 (半角 27 文字以下) .....	38
<input type="checkbox"/> エンコード済みトラック名称 (半角 31 文字以下) .....	38
デフォルトに復帰 .....	38

---

---

<b>第 6 章:MacMP3 プレーヤ</b> .....	<b>39</b>
コントロールウインドウ .....	39
MP3 ファイルを聴く .....	41
<ファイルから再生する> .....	42
<プレイリストから再生する> .....	42
音楽 CD を聴く .....	42
ストリーミング再生を聴く .....	43
<ストリームガイドからストリーミング再生する> .....	43
<プレイリストから再生する> .....	44
プレイリストについて .....	44
1. プレイリストを作成する .....	44
2. プレイリストを選択する .....	44
プレイリストウインドウについて .....	45
<プレイリストに項目を追加する> .....	46
<プレイリストの演奏順を変更する> .....	46
<プレイリストから項目を削除する> .....	47
メニュー .....	47
■ファイルメニュー .....	47
新規プレイリスト .....	47
新規コントロールウインドウ .....	47
開く… .....	48
サーバを開く… .....	48
プレイリストを開く .....	48
閉じる .....	48
プレイリストを保存 .....	48
プレイリストを別名で保存 … .....	48
サーバを別名で保存 … .....	48
終了 .....	49
■編集メニュー .....	49
取り消し .....	49
カット/コピー/ペースト/消去 .....	49
すべてを選択 .....	49
初期設定 .....	49
<アピアランス> .....	50
<一般設定> .....	51
音声ファイル .....	51

---

---

<詳細設定> .....	52
表示項目 .....	52
ライン 1 / 2 の表示項目 .....	52
この情報をスクロールさせる .....	52
キーボードショートカット .....	53
プレイリスト表示項目 .....	53
プレイリストウインドウ .....	53
<ネットワーク> .....	54
CD データベース設定 .....	54
接続情報 .....	55
ストリームガイドの設定 .....	55
その他のネットワーク設定 .....	55
■ コントロールメニュー .....	56
再生 / 一時停止 .....	56
停止 .....	56
曲送り .....	56
曲戻し .....	56
ミュート オン / オフ .....	56
取り出し .....	56
■ プレイリストメニュー .....	57
新規フォルダ .....	57
ファイルの追加 ... .....	57
再生中の曲をプレイリストに追加 .....	57
Finder で前面に表示 .....	57
プレイリストオーガナイズ .....	57
順番をランダムにする .....	58
順番をふりなおす .....	58
ストリームガイドを更新 .....	58
すべてにチェックする .....	58
すべてのチェックをはずす .....	58
プレイリストをリピート .....	58
1 曲のみリピート .....	59
シャッフルプレイ .....	59
■ ツールメニュー .....	59
アラームクロック .....	59
コンソール .....	60
<エフェクト> .....	60
イコライザ (Equalizer) .....	60

---

---

カラオケ (Karaoke) .....	61
スピード (Speed) .....	61
<ビジュアル> .....	62
<入力> .....	62
CD オーディオ (CD Audio) .....	62
ファイル (File) .....	62
HTTP .....	63
<再生> .....	63
AIFF .....	63
CD オーディオ (CD Audio) .....	63
MPEG (Shrike) .....	63
WAVE .....	64
<出力> .....	64
Macintosh オーディオ (Macintosh Audio) .....	64
カバーアートビューア .....	64
情報を見る .....	65
MP3 情報エディタ .....	65
<一般> .....	66
<詳細> .....	66
<ポピュラリティ> .....	67
<アートワーク> .....	68
ミキサー .....	68
ストリームガイド .....	69
ビジュアライザ .....	69
この曲を MacMP3 でエンコード .....	69
この CD を MacMP3 でエンコード .....	70
■ ウィンドウメニュー .....	70
<b>第 7 章:FAQ(よくある質問と回答).....</b>	<b>71</b>
一般: .....	71
プレーヤ: .....	71
エンコーダ: .....	73
その他: .....	79
<b>第 8 章:テクニカルサポート .....</b>	<b>81</b>
■ ユーザ登録 .....	81
■ 登録方法 .....	81
■ サポート窓口 .....	81
■ サポートセンターへのお問い合わせ .....	81

---

---

# 第 1 章:はじめに

## MP3 とは?

MP3 は MPEG Audio Layer 3 の略称で、オーディオデータを扱うファイル形式の一つです。他の音声ファイル形式と比較して容量が小さく、ほぼオリジナルと同様の音質を保つことができるという特徴を持っているため、様々な用途に応用が可能な汎用フォーマットとして注目を集めています。

MPEG (Motion Picture Experts Group) とは、国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) が共同で組織した作業グループの名称です。このグループの目標としては、デジタルビデオと音声データ圧縮の国際標準規格を作ることが掲げられています。つまり MPEG とは、あまり大きなデータ量を必要とせず、デコードにも負荷のかからない音声/ビデオデータフォーマットの定義を行う団体、と言い換えられます。

通常、DOSやUNIXシステム上では、MP3フォーマットであることをシステムに認識させるため、3文字の拡張子 “.mp3” がファイル名の末尾に付けられます。

## 著作権について

MP3の普及とともに最もクローズアップされているのが、その高いクオリティゆえに生じる著作権に関わる問題です。当然、自分で作った楽曲をMP3ファイルにする分には何の問題もないのですが、著作権を有し、商品として売られている音楽著作物を複製してMP3に変換するときには注意が必要です。

もちろん、本人が楽しむ範囲ならば問題ありません。しかし、それらの音源から作成したデータを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって厳しく禁止されています。

著作権に関する法律は、今後改定されていくことが考えられます。従って、著作権に関する最新情報は、日本音楽著作権協会 (JASRAC) のページ (<http://www.jasrac.or.jp/>) 等を随時ご確認ください。

## MacMP3 概要

MacMP3は、音楽CDからドラッグ&ドロップするだけでMP3ファイルを自動的に作成することができるエンコーダと、MP3をサポートしたインターネット時代のマルチソース・プレーヤがセットになったトータルパッケージです。各コンポーネントの概要を以下に簡単に紹介します。

### エンコーダ

- 音楽 CD からドラッグ&ドロップするだけでMP3 ファイルを自動的に作成
- Power Mac G4 搭載の Velocity Engine に最適化、より高速なエンコードを実現
- CD タイトル／曲名／アーティスト名等を自動認識 (CDDB\*1 サポート)
- CDDB から取得した情報を MP3 作成時のファイル名として任意に反映可能
- マルチ・エンコードエンジンにより、曲に合わせてエンコードし分けることが可能
- 音楽 CD からMP3 だけでなく、AIFF\*2 への変換もサポート
- AIFF、WAV フォーマットからMP3 への変換をサポート
- CD エクストラ\*4 からのエンコードをサポート
- 内蔵／外部マイクから入力した音声をMP3 に変換可能 (ライブ・エンコード)
- ボタンをクリックするだけで簡単にエンコードできる、分かりやすいインターフェース
- エンコード時のカスタム設定をセットとして保存、プリセット同様簡単な手順で選択が可能

### プレーヤ

- 音楽 CD / MP3 / MP3 ストリーミング再生の3モードすべての音源を同時に登録でき、階層管理も可能なプレイリスト
- プレイリスト内の MP3 ファイルに対する再生頻度を記録し、よく聴く順にソーティング等、より細やかなプログラム再生をサポート
- Rock、Pop、Jazz など、曲調に合わせて選択可能なプリセットを搭載、音楽 CD 再生にも適用可能なイコライザ機能
- 音楽に合わせてグラフィカルな効果が楽しめるビジュアルライザを搭載
- プレーヤのコントロールウィンドウの複数起動を実現、2つの音源を同時に再生しながらボリュームコントロールを行うミキサ・ウィンドウ搭載

- 
- アラームクロック機能での自動再生や、リピート、ランダム再生等、CD / MD プレーヤを凌ぐ多彩な再生機能
  - ローカルボリュームのファイルからの再生において、MP3 の他 AIFF、WAV フォーマットの再生に対応
  - CD タイトル / 曲名 / アーティスト名等を自動認識 (CDDDB\*1 サポート)
  - アーティスト名やタイトルなどの情報を ID3 タグ\*5 で認識可能、作成後に MP3 ファイルのタグ情報を編集するタグエディタ機能
  - カラオケ再生 (ボイス・キャンセラー) で一般的な MP3 ファイルのボーカルをカット、再生スピードのコントロールも実現
  - AppleScript による制御に対応

---

\*1 世界中の CD のタイトルやアーティストの名前が登録されているデータベース。

\*2 Macintosh で使われている標準的な音声ファイルの形式。

\*3 アップルコンピュータ社が開発した、コンピュータ上でデジタルオーディオやデジタルビデオを扱うための機能を拡張する技術。

\*4 インターネットを通じて配信される音声を使った情報の提供。

\*5 MP3 ファイルの中に曲名やアーティスト名、その他の情報を埋め込むための領域。これを付加することで管理が容易になる。

\*6 音楽 CD にミュージックビデオやアーティストのインタビュー、Web リンクなどのマルチメディアファイルが追加されたもの。通常 Mac OS では、音楽 CD ではなく CD-ROM として認識される。

---



---

## 第2章:インストール

### MacMP3 のインストール方法を以下に説明します。

フルインストールを行うと、MacMP3エンコーダ、プレーヤを含むすべてのコンポーネントがインストールされます。インストールされる詳しい内容については、インストール後に作成される“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“MacMP3 v.3 お読みください”を参照してください。

### システム要項

Mac OS 8.1以降、Mac OS 9 対応 (Mac OS 8.5以降推奨)、iMac、iBook、Power Mac G4対応、8MB以上のRAM、CD-ROMドライブ (8倍速以上推奨、Apple純正のCD-ROMドライブを推奨)、インターネット接続環境 (CDDDB等のインターネット連携機能に必要)

エンコーダ:	Power Macintosh、Power Macintosh G3以上推奨
プレーヤ:	PowerPC 604以上のプロセッサを搭載したPower Macintosh、Power Macintosh G3以上推奨 (PowerPCプロセッサを搭載したすべてのMacintoshで動作可能)

※処理速度の低いMacintoshでのご使用につきましては、“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“MacMP3 v.3 お読みください”を参照してください。

### インストール手順

1. インストールを開始する前に、CD-ROMからハードディスクへMacMP3のインストーラをコピーします。デスクトップなどの分かりやすい場所にコピーすることをおすすめします。
2. コピーが終了したら、機能拡張マネージャなどでOS基本の機能拡張だけをロードさせるようにして、Macintoshを再起動してください。インストール時の問題の大半は、標準以外の機能拡張を外すことで回避できます。
3. ハードディスク上にコピーした“MacMP3 v.3インストーラ”アイコンをダブルクリックしてください。インストーラが起動します。



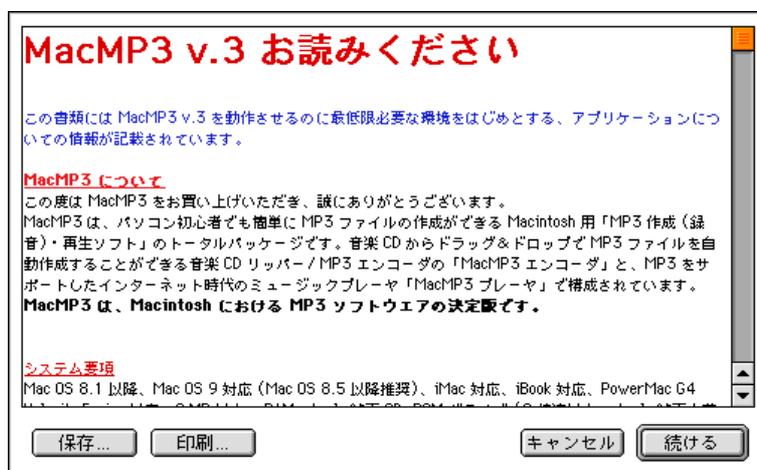
MacMP3 v.3 インストーラ

4. ダイアログが表示されます。



“続ける”をクリックしてください。

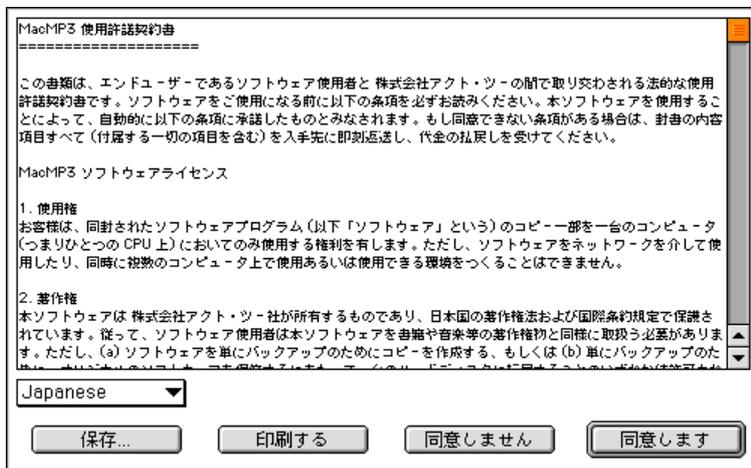
5. インストーラのウインドウ内に文書が表示されます。



この文書を保存する場合は“保存...”ボタンを、印刷する場合は“印刷...”ボタンをクリックします。ただし、印刷に関する機能拡張が有効になっていない場合は印刷ができませんのでご注意ください。

インストール作業を開始する場合には“続ける”ボタンを、中止する場合には“キャンセル”ボタンをクリックしてください。

6. 使用許諾契約書が表示されます。

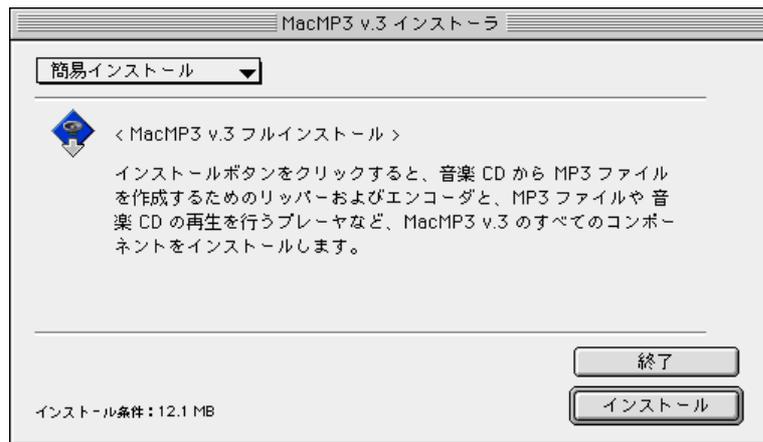


---

使用許諾契約書はインストール前に必ずお読みください。この使用許諾契約書に同意できない場合には、インストールを中止して、この製品のメディア、パッケージおよび付属品一切をご返品ください。

内容に同意する場合は“同意します”をクリックします。

7. インストール画面が表示されますので、“インストール” ボタンをクリックしてインストールを続けます。



デフォルトでは、左上のポップアップメニューで“簡易インストール”が選択されています。この状態でインストールを行うと、MacMP3のすべてのコンポーネントがインストールされます。

エンコーダやプレーヤのみインストールしたい場合は、ポップアップメニューで“カスタムインストール”を選択し、インストール方法をクリックしてから“インストール”ボタンを押してください。



また、ポップアップメニューで“アンインストール”を選択して、すでにインストールされているMacMP3のすべてのコンポーネントを削除することも可能です。

8. インストール先を指定します。



MacMP3のインストール先を指定するダイアログが表示されます。指定したら、“インストール”ボタンをクリックしてください。

9. インストールが終了すると、“OK” “再起動” のいずれかを訊ねるダイアログが表示されます。



インストール前に機能拡張を外してからインストール作業を行った場合などには、一度“OK”をクリックし、インストーラを終了した後に、機能拡張マネージャで再起動後に機能拡張を元に戻す設定を行った上で再起動してください。

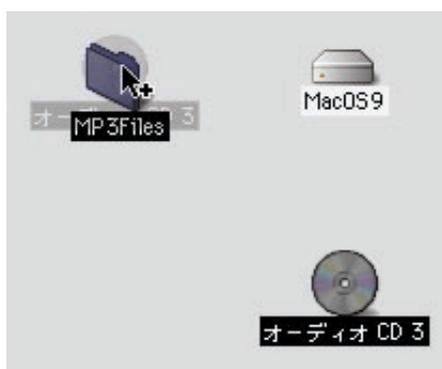
---

## 第3章:今すぐ作ってみよう!

### 音楽 CD から MP3 ファイルを作ってみる

#### 作成方法 1

##### Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ&ドロップ



MacMP3をインストール後、再起動すると、MP3エンコード(作成)に必要な機能がシステムに自動的に組み込まれます。ですから、音楽CDを丸ごと、または必要なトラックだけ選択し、ドラッグ&ドロップでデスクトップやFinder上のフォルダにコピーするだけでMP3を作成できます。

#### 作成方法 2

##### プレーヤで音楽 CD を再生しながらエンコード



プレーヤのツールメニューから

- この曲を MacMP3 でエンコード
- この CD を MacMP3 でエンコード

を実行すると、音楽CDを再生しながら、MP3へのエンコードを行うことができます。

- ※ デフォルトの設定では、エンコードの開始時に“エンコード設定”のダイアログが表示されます。“続ける”ボタンを押すことでエンコード処理を開始することができます。



### 作成方法 3

#### エンコーダ画面から方法を選んでエンコード

“MacMP3 v.3フォルダ” から “MacMP3エンコーダ” を起動し、パネルからエンコード方法を選択してエンコードを行うことができます。

この方法を利用すると、

- マウントしているCDの全トラックをエンコード\*
- マウントしているCDからトラックを選択してエンコード
- ディスク上の音楽トラック、AIFF、WAVファイルを選択してエンコード
- 内蔵/外部マイクから取り込んだ音声をエンコード

のいずれか方法でMP3を作成することができます。



## MP3 を聴いてみる

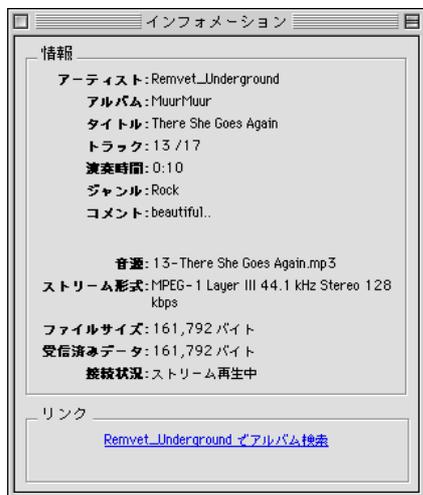
### プレーヤの起動



MP3ファイルをMacMP3プレーヤアイコンにドラッグ&ドロップすれば、MacMP3プレーヤが起動して、すぐに再生が始まります。また、プレイリストファイルをプレーヤアイコンにドラッグ&ドロップしても、MacMP3プレーヤを起動できます。この場合、プレイリストウィンドウを開いた状態でプレーヤが起動しますので、再生ボタンを押すことでプレイリストの再生を始めます。もちろん、MacMP3プレーヤアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

MacMP3プレーヤは、MP3ファイルだけでなく、音楽CDやインターネットラジオ(ストリーミング再生)を聴くこともできるマルチソース・プレーヤです。

## プレーヤの基本操作



## フェイスの選択

フェイスとは、プレーヤの外観のことです。

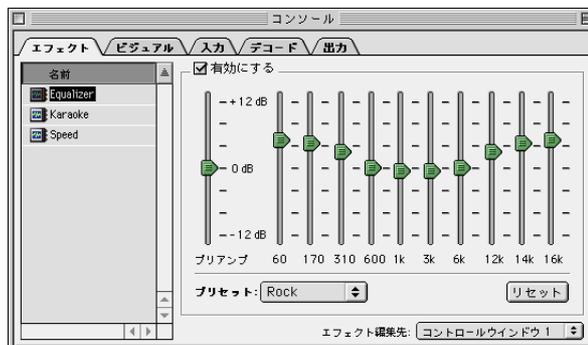
MacMP3ではユーザの好みや持っているマシンの色に合わせて外観を選択することができます。

“初期設定” パネルの“アピアランス” で選択してください。



## イコライザ

イコライザとは一定の周波数帯域ごとに強弱をつけることができる機能です。これによって、好みの音質を細かく調整することが可能です。



再生する曲に合わせ、プリセットを利用することもできます。

詳細については「第6章:MacMP3プレーヤ」の「ツールメニュー」のコンソールウインドウの説明箇所をご参照ください。

## プレイリストで再生する

プレイリストとは、複数のMP3、音楽CDトラック、ストリーミングサーバなどをセットにし、再生順などをファイルとして保存しておくものです。よく聴く音楽ソースを1つのプレイリストに登録しておけば、お気に入りの曲の連続再生が手軽に行えます。登録はドラッグ&ドロップのみの簡単操作で行え、リスト内の項目のフォルダ単位での管理も可能ですし、登録されているMP3ファイルの再生頻度でソートをかければ、自分だけのMP3ベストテンを楽しむこともできます。また、複数のプレイリストを作成することができるので、テイストごとにリストを作り、気分に合わせて再生し分けることも簡単です。



プレイリストウィンドウにフォルダをドラッグ&ドロップすると、フォルダごとMP3ファイルを管理することができます。フォルダの横のチェックボックスのオン/オフで、そのフォルダのファイルを再生するかしないかの設定が行えます。例えば、音楽CDを丸ごとエンコードし、アルバムタイトルのついたフォルダでプレイリストに追加すると、何というアルバムの曲がリストに登録されているかが一目で分かり、とても便利です。また、複数の階層ごと登録が可能なので、アーティスト名のフォルダの中にアルバム名のフォルダを作り、MP3ファイルを登録する、といった使い方もできます。



登録されているソースの再生順はドラッグ&ドロップだけで変更でき、プレイリスト単位でのリピート、リスト内の1曲のリピート、リスト内でのシャッフルプレイなどが可能です。

また、プレイリストメニューから“プレイリストオーガナイズ”を選択すると、プレイリスト内のMP3ファイルをアーティスト名などでフォルダにまとめることができます。様々なまとめ方が用意されていますので、使い分けてMP3の管理に役立ててください。

今すぐ作ってみよう!

---

---

## 第4章:エンコードについて

MacMP3には大きく分けて、MP3ファイルを作成する「エンコード」機能とMP3ファイルを再生する「プレーヤ」機能の2つの機能があります。ここでは「エンコード」について説明します。

### エンコードとは

MP3ファイルを作成することを「MP3ファイルにエンコードする」と言います。エンコードするソフトを「エンコーダ」と呼びます。

MacMP3でMP3ファイルを作成するには以下の8つの方法があります。

- [1] 音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップ
- [2] 音楽CDのトラックをダブルクリック
- [3] 音楽CDごとエンコード
- [4] MacMP3エンコーダにドラッグ&ドロップ
- [5] MacMP3エンコーダからエンコード
- [6] MacMP3プレーヤから音楽CDをエンコード
- [7] CDエクストラからエンコード
- [8] AIFF、WAVファイルからエンコード

それぞれの方法を以下に詳しく説明しますので、一番使いやすい方法でMP3ファイルを作成してください。

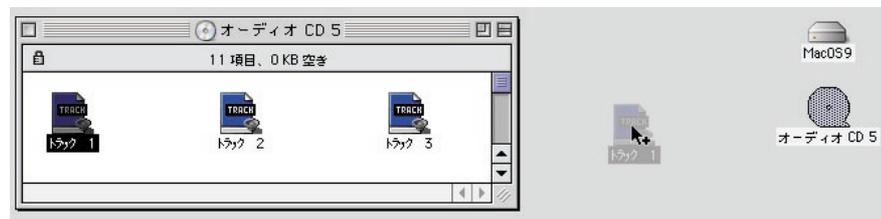
### エンコード方法 1

#### 音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップ

一番簡単なMP3ファイルの作成の仕方がこの方法です。手順は以下の通りです。

1. 音楽CDをMacintoshに挿入します。
2. 音楽CDのアイコンをダブルクリックして開き、エンコードしたいトラックをデスクトップ上や任意のフォルダ等、MP3ファイルを作成したい場所にドラッグ&ドロップします。

例として、デスクトップにドラッグした場合を説明します。



3. 設定画面が表示されます。



詳細な設定や設定セットの作成を行う場合は、“設定の編集” 三角形をクリックしてください。詳細については、後述する「MacMP3エンコーダ」の「エンコード設定」の説明箇所をご参照ください。

お好みの設定を行った後、“続ける” ボタンをクリックしてください。

4. “MacMP3エンコード” ダイアログ内にある詳細画面の“編集...” ボタンをクリックすると、エンコードしているMP3ファイルのタグ情報を編集するウィンドウが表示されます。



5. エンコードが終了すると、MP3ファイルが作成されます。



PHALLIC TRACTOR.mp3

この方法でMP3ファイルを作成すると、MP3ファイルはトラックをドラッグ&ドロップした場所に作成されます。この例ではデスクトップにMP3ファイルが作成されているはずです。

---

これでMP3ファイルが作成されました。MacMP3プレーヤを使って、作成したMP3ファイルをお楽しみください。

プレーヤの詳細は「第6章:MacMP3プレーヤ」を参照してください。

## エンコード方法 2

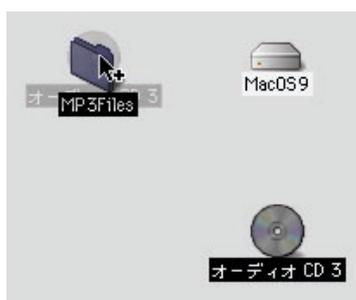
### 音楽 CD のトラックをダブルクリック

MP3ファイルに変換したいトラックをダブルクリックした場合も、MP3ファイルへエンコードすることができます。トラックをダブルクリックした後は、前項の3.以降と同様の動作をします。

唯一異なる点は、MP3ファイルが作成される場所です。トラックをダブルクリックしてMP3ファイルを作成した場合、“エンコード設定”パネルで設定されている“ファイルの保存先”にファイルが作成されます。この設定は、デフォルトではデスクトップになっています。保存先の設定については、後述する「MacMP3エンコーダ」の項を参照してください。

## エンコード方法 3

### 音楽 CD ごとエンコード



音楽CDの全トラックを簡単にエンコードすることもできます。マウントした音楽CDのアイコンをFinder上の任意のフォルダやボリュームにドラッグ&ドロップしてください。前述の「エンコード方法 1」と同様の操作で、CD全トラックのエンコードが開始されます。

## エンコード方法 4

### MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ

“MacMP3 v.3フォルダ”にインストールされた“MacMP3エンコーダ”アプリケーションに音楽CDのアイコンやトラックのアイコン、AIFFファイルやWAVファイルをドラッグ&ドロップすることで、MP3ファイルにエンコードされます。

エンコードの動作は他のエンコード方法と同様です。作成されるMP3ファイルの保存場所は「エンコード方法2」を参照してください。

## エンコード方法 5

### MacMP3 エンコーダからエンコード

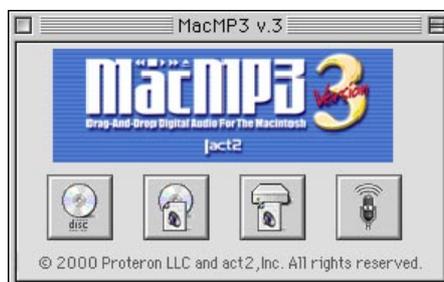
“MacMP3 v.3フォルダ”の中の“MacMP3エンコーダ”を起動し、ウインドウに表示されているボタンをクリックするだけでMP3ファイルを作成することができます。

この方法では

- ・ 音楽CDを完全にエンコード
- ・ 音楽トラックをエンコード
- ・ ディスク上のファイルをエンコード
- ・ オーディオソースをライブエンコード

のいずれかを選択することができます。

1. “MacMP3 v.3フォルダ”内の“MacMP3エンコーダ”アイコンをダブルクリックします。
2. エンコーダ画面が表示されます。



パネルには4つのボタンがあり、左から下記のような方法でMP3を作成することができます。



#### ・ 音楽 CD を完全にエンコード

このボタンから、マウントしている音楽CDの全トラックをエンコードすることができます。

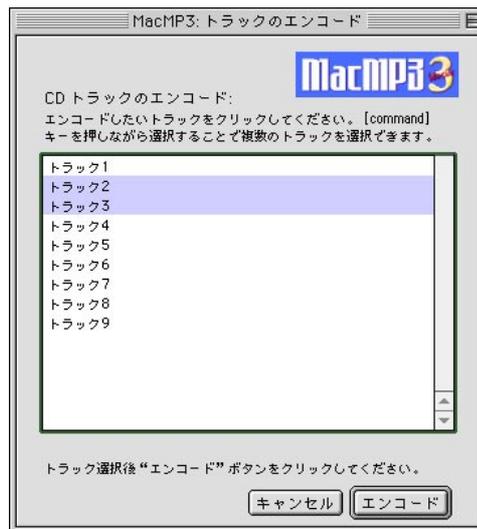
クリックすると“エンコード設定”パネルが表示され、その後は他のエンコード方法と同様の操作でMP3を作成することができます。



## ・音楽トラックをエンコード

このボタンから、マウントしている音楽CDの特定のトラックを選択してエンコードすることができます。

クリックすると音楽CDの全トラック名が表示されますので、エンコードしたいトラックを選択します。



このウインドウでトラックを選択する際、commandキーを押しながらクリックすると並んでいない複数のトラックを同時に選択することができ、あるトラックを選択後にshiftキーを押しながら他のトラックを選択すると、その間にあるトラックをすべて選択することができます。

この2つのトラックの選び方を組み合わせて使用することで、簡単にCDエクストラからエンコードしたいトラックを選択することができます。

commandキーで選択後にshiftキーを押してクリックをしたり、shiftキーを押しながらのクリックを2回すると、事前に行っていた選択が取り消されます。



## ・ディスク上のファイルをエンコード

このボタンから、ディスク上のAIFF、WAV、音楽トラックを選択してエンコードすることができます。

クリックすると選択ダイアログが表示されますので、エンコードしたいファイルを選択してください。“エンコード設定”パネルが表示されますので、その後は他のエンコード方法と同様の操作でMP3を作成することができます。



### ・オーディオソースをライブエンコード

このボタンから、内蔵または外部マイクによって入力した音声をMP3ファイルにエンコードすることができます。

クリックすると保存ダイアログが表示されますので、音声をレコーディングするMP3ファイルのファイル名を入力し、保存場所を指定して“保存”ボタンを押してください。空のMP3ファイルが作成され、以下のダイアログが表示されます。



“ソース”で音声をどこから取り込むかを指定した後、“スタート”ボタンでレコーディングを開始し、“ストップ”ボタンで終了させます。

“設定...”ボタンをクリックすると、“エンコード設定”パネルが表示され、作成するMP3ファイルの設定を行うことができます。

## エンコード方法 6

### MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード

MacMP3プレーヤで再生中の音楽CDをMP3ファイルにエンコードすることもできます。操作方法につきましては、「第6章:MacMP3プレーヤ」を参照してください。

## エンコード方法 7

### CD エクストラからエンコード

CDエクストラ(エンハンスドCD)にはマルチメディアファイルなどの追加情報が含まれているため、エンコードするためには「エンコード方法5 MacMP3エンコーダからエンコード」と同様、MacMP3エンコーダアプリケーションを起動

---

する必要があります。操作の詳細については「エンコード方法5」を参照してください。

## エンコード方法 8

### AIFF、WAV ファイルからエンコード

“MacMP3 v.3 フォルダ” 内の “MacMP3 エンコーダ” アプリケーションに、AIFFファイル、またはWAVファイルをドラッグ&ドロップしてエンコードします。また、MacMP3エンコーダを起動し、エンコーダパネルの右から2番目の “ディスク上のファイルをエンコード” ボタンを選択することでも同様の操作が行えます。

---

#### Tips: AIFF ファイルと WAV ファイルのサポート

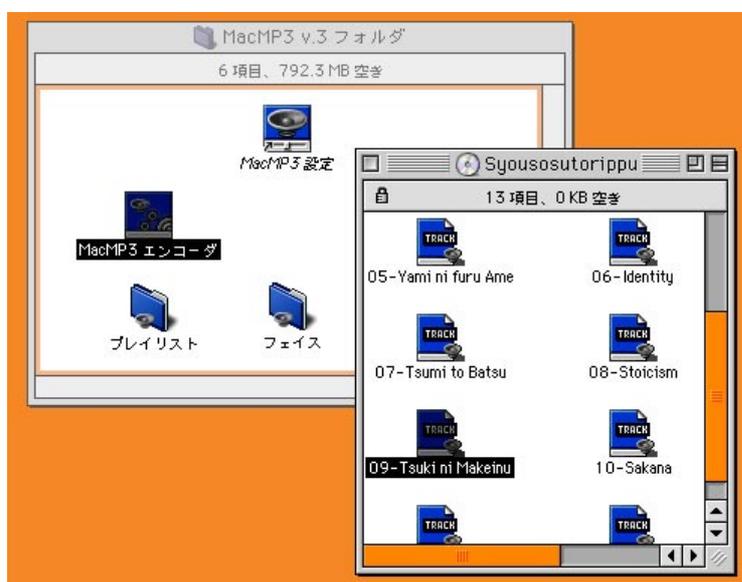
MacMP3はPCM AIFFファイルをサポートしており、その他の外部AIFF形式は認識されない恐れがあります。MacMP3では音楽CDからリッピングしてエンコードする際のみAIFFへの書き出しをサポートしており、ハードディスク上のWAVファイルをエンコードする時にAIFFファイルを作成することはできません。また、サンプルレートが13kHz未満のWAVやAIFFファイルからは、高音質のMP3ファイルは作成できませんのでご注意ください。ディスクの空き容量が少なかったり、高音質である必要がない場合は、会話の録音などには13kHz未満で作成されたMP3ファイルが適しているかもしれません。

---

#### Tips: 残り時間とプログレスインジケータ

WAVやAIFFファイルのエンコード時、“MP3にエンコード” ダイアログ内に表示される残り時間は、100%正確とは言えませんが、信頼できる妥当な推測値であるはずですが、ただし、45分以上の大きなオーディオトラックをエンコードする際には、実際よりもやや大きな値が表示されることがあります。

---



## “ MacMP3 エンコード ” ダイアログ

MP3ファイルへのエンコードが開始されると、“MacMP3エンコード” ダイアログが表示されます。このダイアログの設定を以下に説明します。

### 中止

MP3へのエンコードを中止します。



この項目にチェックすると、エンコードを継続しながらエンコード中のCDトラックが再生されます。

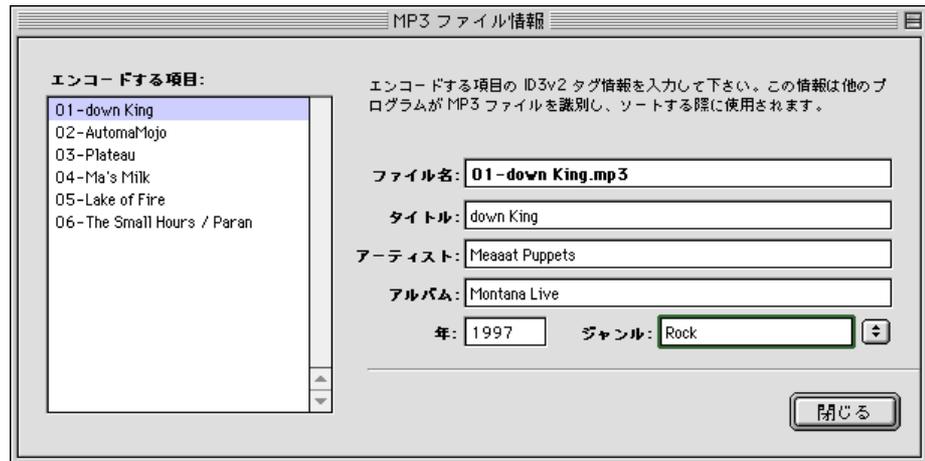
### 編集画面

“MacMP3エンコード” ダイアログの左下に表示されている三角のタブアイコンをクリックするとMP3ファイルの詳細を表示する画面が表示されます。



この詳細画面の“編集...” ボタンをクリックすると、エンコード中のMP3ファイルに含まれるID3v2 タグの編集ウインドウが表示されます。

ID3v2タグは曲名やアーティスト名などの情報を埋め込むための領域で、一般的なMP3プレーヤでサポートされています。



ウインドウ左部でトラックを選択すると、右部の入力エリアがアクティブになります。このウインドウで編集できるタグ情報には以下の項目があります。

- ファイル名
- タイトル
- アーティスト
- アルバム
- 年
- ジャンル

また、MacMP3がインターネット経由でCDDDBからエンコード中の音楽CDの情報を取得した場合、左部のトラック名リストに取得したトラック名が表示され、それぞれの情報が自動的に各入力エリアに反映されます。この際、取得された情報から自動的にファイル名が作成されますが、この命名規則を“MacMP3 初期設定” パネルや“MacMP3 設定” コントロールパネルで任意に設定することができます。また必要があれば、これらの反映情報を修正することも可能です。

作成後にMP3ファイルのタグ情報を修正したい場合は、MacMP3プレーヤのツールメニューから“MP3情報エディタ”を使用して編集することができます。

## MacMP3 エンコーダ

ここでは“MacMP3エンコーダ”アプリケーションのメニューについて説明します。

### ファイルメニュー



#### CD をエンコード ...

エンコーダパネルの左から1番目のボタンを押した場合と同様、マウントしている音楽CD の全トラックをエンコードすることができます。

#### トラックをエンコード ...

エンコードパネルの左から2番目のボタンを押した場合と同様、マウントしている音楽CD の特定のトラックを選択してエンコードすることができます。

#### ファイルをエンコード ...

エンコードパネルの左から3番目のボタンを押した場合と同様、ディスク上のAIFF、WAV、音楽トラックを選択してエンコードすることができます。

#### MP3 にレコーディング ...

エンコードパネルの左から4番目のボタンを押した場合と同様、内蔵または外部マイクなどによって入力した音声をMP3 ファイルにエンコードすることができます。

### エンコード設定

“エンコード設定” パネルを表示します。パネルの詳細は次の通りです。



## 設定

エンコード設定のセットを選択することができます。デフォルトで選択できるセットは以下の通りです。

### ●カスタム

“設定の編集”画面で詳細を自由に設定することができます。設定後にその設定セットに名称をつけて保存した場合は、次回以降“設定”ポップアップメニューに表示され、選択可能になります。

### ●AIFFリップリング

“AIFFリップリング”エンジンを使用し、音楽CDのオーディオトラックをMP3にエンコードする代わりに、AIFFファイルとして保存することができるセットです。

---

#### Tips:AIFFとは

AIFFファイルはQuickTimeやMacintosh上のその他のオーディオメディアプレーヤで再生することができ、最もオリジナルに忠実なコピーとなります。

MacMP3では、AIFFファイルを“MacMP3エンコーダ”アプリケーションにドラッグ&ドロップしたり、“MacMP3エンコーダ”起動時に表示されるエンコーダパネルから“ディスク上のファイルをエンコード”ボタンを使用することで、AIFFファイルをMP3ファイルにエンコードすることも可能です。

---

### ●音質重視

“LAME Encoder”エンジンを使用し、音質を優先してエンコードすることができるセットです。ビットレートは設定できる最高値に設定されてお

---

り、“Joint Stereo”モードを使用することで、非常に高音質なエンコードを行います。

●CD(高音質)

“LAME Encoder” エンジンを使用し、CDと同程度の音質でエンコードすることができるセットです。ビットレートは若干高めに設定されており、“Joint Stereo”モードを使用することで、音質に比重を置いたエンコードを行います。

●CD(低容量)

“LAME Encoder” エンジンを使用し、CDと同程度の音質でエンコードすることができるセットです。ビットレートは標準的な128kbpsに設定されており、“Stereo”モードを使用することで、音質を損なわずに容量を小さくするエンコードを行います。

●ボイスレコード

“MacMP3” エンジンを使用し、容量節約に比重を置いたエンコードをすることができるセットです。会議や講演などの長時間録音に適しています。

●速度重視

“MacMP3” エンジンを使用し、変換速度を優先してエンコードすることができるセットです。

“LAME Encoder” エンジンでエンコードをおこなう場合は“音質”の設定箇所では“速度重視”を選択することができますが、“MacMP3” エンジンを使用する場合にはこのオプションは使用できません。“MacMP3” エンジンで時間をかけずにエンコードを行いたい場合には、このセットを使用すると便利です。

●MP2エンコード

“MacMP3 Layer2” エンジンを使用し、MPEG Audio Layer2(MP2)フォーマットにエンコードすることができるセットです。

---

●Web(モノラル)

“MacMP3” エンジンを使用し、Webでのストリーム再生などに最適な“Mono”モードのMP3ファイルにエンコードすることができるセットです。

●Web(ステレオ)

“MacMP3” エンジンを使用し、Webでのストリーム再生などに最適な“Joint Stereo”モードのMP3ファイルにエンコードすることができるセットです。

### ファイルの保存先

音楽CDのトラックをダブルクリックするなどの方法でエンコードした時、作成したMP3ファイルをどこに保存するかを設定します。デフォルトではデスクトップが設定されていますが、“選択”ボタンをクリックし、ダイアログから保存先フォルダを選択することができます。

“設定の編集”の三角形をクリックすると、エンコードに関する詳細な設定が行えます。



詳細を以下に説明します。

## エンコーダ

エンコードに使用するエンジンを選択することができます。選択できるエンジンは以下の通りです。

### MacMP3

MacMP3の標準的なエンコードを行います。ビットレートとモードの指定が可能です。

### MacMP3 Layer2

MPEG Audio Layer2のフォーマットへエンコードします。ビットレートとモードの指定が可能です。

このエンジンを使用して作成したファイルはMP3ファイルではないため、MacMP3プレーヤ以外のMP3プレーヤでは再生できない場合がありますのでご注意ください。

### LAME Encoder

LAMEエンジンを使用してエンコードします。音質オプションの選択、ビットレートとモードの指定が可能です。

### AIFF リッピング

音楽CDからAIFFへのリッピングを行います。

このエンジンを使用して作成したファイルはMP3ファイルではないため、MacMP3プレーヤ以外のMP3プレーヤでは再生できない場合がありますのでご注意ください。

## 音質

エンコードエンジンとして“LAME Encoder”を選択した場合に選択可能になります。“音質重視”を選択すると、ISOによって定められた規格をベースに情報量をできるだけ多く残すため、音質は向上しますが、エンコード時間が若干遅くなります。

## ビットレート

一般的に、高く設定することで音質はよくなりますが、圧縮率が低下し、

---

ファイル容量が大きくなります。

音楽CD（サンプリング周波数 44.1kHz、量子化bit数 16bit、ステレオ）と同様の音質にエンコードしたい場合、“128kbps” または “160kbps” を選択してください。

---

Tips :ビットレートとは

ビットレートとは1秒間に伝送される情報量をビット数で表現したものです。情報量が多い程、ビットレートは高くなります。音声の場合、1秒間に何ビットのデータを表現するかという割合になります。単位は「ビット/秒」となり、「kbps」は「キロ（1,000）ビット/秒」を指します。高音や低音を美しく聴かせたい場合はビットレートを高くする必要がありますが、高低の少ない音楽などの場合はビットレートをあまり高く設定しなくても美しく聴かせることができます。

---

一番下に表示される“VBR”を選択すると、可変ビットレートでエンコードすることができますが、選択しているエンコードエンジンによって、VBRを適用するレート範囲の設定方法が変わります。

#### < “ MacMP3 ” “ MacMP3 Layer2 ” を選択した場合 >

“ビットレート” ポップアップメニューの右横に“平均kbps” というポップアップメニューが表示されます。ここで選択した数値の固定レートでエンコードした場合と同程度の容量になるよう、VBRを適用したエンコードを行うことができます。



### < “ LAME Encoder ” を選択した場合 >

“ビットレート” ポップアップメニューの右横に2つのポップアップメニューが表示されます。上限／下限をkbps単位で選択することで、VBRエンコードの適用範囲を指定することができます。



#### Tips: 可変ビットレート (VBR) とは

ビットレートが時間的に変化する方式のことを指します。通常の設定では、“ビットレート” ポップアップメニューで選択した数値(デフォルトでは“128kbps”)に固定された「固定ビットレート方式」でエンコードを行います。この場合、設定したビットレートより狭い音域の場合は、確保した領域を使い切らないために容量が無駄に使用されることとなります。その点、VBRは音域が狭いところではビットレートを低く、音域が広いところではビットレートを高くエンコードし、無駄の少ない最適なエンコードが行えます。しかし、MP3プレーヤの中にはVBRに対応していないものもあるので注意が必要です。

## モード

以下の4つから選択できます。

### Stereo

オリジナルのオーディオトラックの左右のチャンネルを利用して、左右に分けてエンコードします。

例えば128kbpsのステレオエンコーディングは、実際には左右のチャンネルを64kbpsずつにエンコードしています。

---

### Mono

この設定は、モノラルサウンドファイルやステレオ音源からモノラルのMP3ファイルを作成する時に使用します。

### Joint Stereo

Stereo モードと異なり、ジョイントステレオエンコーディングでは、2つのチャンネルの同じ部分と違う部分を見つけようとします。この方法では、通常のステレオエンコーディング以上の音質を提供します。

### Force Stereo

基本的には、モノラルでのエンコードと同じサウンドを左右両方のチャンネルに振り分けます。

### 保存 ...

現在のエンコード設定のセットを保存する場合に使用します。このボタンを押すと“この設定の保存名”というダイアログが表示されます。設定の名称を入力し、“保存”ボタンを押すことで、“エンコード設定”パネルの“設定”ポップアップメニューからいつでも設定のセットを呼び出すことができるようになります。



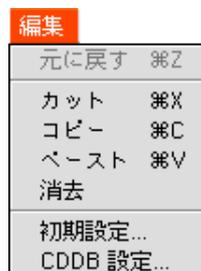
### 閉じる

エンコード作業中に、アプリケーションを終了せず、MacMP3エンコーダのパネルだけ閉じる場合に使用します。

### 終了

MacMP3エンコーダを終了します。

## 編集メニュー



### 元に戻す

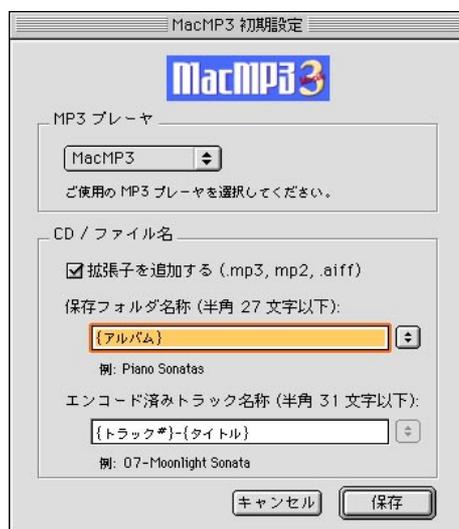
直前の操作を取り消します。(操作によっては取り消せないことがあります。)

### カット / コピー / ペースト / 消去

選択状態にあるファイル名などのテキストに対して有効です。ペーストは、クリップボードにテキストデータがある場合にアクティブになります。

### 初期設定 ...

“MacMP3 初期設定”パネルを表示します。パネルの詳細は以下の通りです。



### MP3 プレーヤ

作成したMP3ファイルをダブルクリックしたときに、どのMP3プレーヤを起動するかを設定できます。

### CD / ファイル名

#### ・ 拡張子を追加する( .mp3, .mp2, .aiff )

作成したファイルの名称の末尾に拡張子をつけるかを設定できます。

### ・保存フォルダ名称(半角 27 文字以下)

ドラッグ&ドロップやエンコードパネルから音楽CD全体のエンコードを行った際に、全曲のファイルが保存されるフォルダの名称を設定できます。ポップアップメニューから選択することで、CDDDBから取得した情報のうち、デフォルトで表示されている“アルバム名”に、アーティスト名、曲名などを追加し、フォルダ名称として設定できます。一度設定した情報を名称から外したい場合は、入力エリアから文字列を削除してください。

### ・エンコード済みトラック名称(半角 31 文字以下)

ドラッグ&ドロップやエンコードパネルから音楽CDのトラック単位のエンコードを行った際に、作成されるファイルの名称を設定できます。ポップアップメニューから選択することで、CDDDBから取得した情報のうち、デフォルトで表示されている“トラック番号”-“曲名”に、アルバム名、アーティスト名などを追加し、ファイル名称として設定できます。一度設定した情報を名称から外したい場合は、入力エリアから文字列を削除してください。

## 保存

行った設定を保存します。

## キャンセル

行った設定を保存せずにパネルを閉じます。

## CDDDB 設定 ...

“CDDDB設定”パネルを表示します。パネルの詳細は以下の通りです。

CDDDB 設定

 音楽 CD 関連のデータはインターネットを通して Escent © CDDDB™ 音楽 CD データベースより提供されています。  
Copyright © 2000 Escent Inc. All rights reserved.  
Escent は Escent, Inc. の登録商標です。 CDDDB™, CDDDB ロゴ は Escent, Inc. の登録商標です。

CD 情報の参照: オンライン時のみ

メールアドレス:

CDDDB サーバ:

HTTP プロキシ:

[www.cddb.com](http://www.cddb.com)      キャンセル      保存

### CD 情報の参照

どのような場合にCD データベースの検索を行うかを設定します。デフォルトでは“オンライン時のみ”が選択されています。

- **常に**

CD をマウントした時、常にCD データベースの検索を行うように設定します。

- **オンライン時のみ**

CD をマウントし、なおかつインターネットに接続し実際にデータが転送されている時のみ検索を行うように設定します。

- **使用しない**

常にCD データベースの検索を行わないように設定します。

### メールアドレス

CDDDBサーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だとCDDDB サーバに接続できないことがありますので注意してください。

### CDDDB サーバ

CD情報を取得するために検索を行うCDDDBサーバを設定します。

### HTTP プロキシ

プロキシを使用してCDDDBサーバに接続する場合に設定します。プロキシを使用しない場合は空欄でも構いません。

---

## 第5章: MacMP3 コントロールパネル

この章では、“MacMP3設定”のコントロールパネルについて説明します。このコントロールパネルでは、主にエンコード機能の設定をすることができます。また、“MacMP3エンコーダ”アプリケーションの編集メニュー内“初期設定...”で表示される“MacMP3初期設定”パネルの設定項目を含んでいます。“MacMP3初期設定”については第4章「エンコードについて」の「初期設定...」を参照してください。

なお、“MacMP3 v.3フォルダ”には“MacMP3設定”コントロールパネルのエイリアスがインストールされており、このエイリアスからコントロールパネルを起動して、設定を行うことができます。



### 設定

エンコードの際の設定を行うことができます。

#### ドラッグ & ドロップで MP3 にエンコード

このオプションをオンにすると、音楽CD からデスクトップや任意のフォルダにトラックをドラッグ&ドロップすることで、エンコードを行うよう設定されます。

### トラックのダブルクリックで MP3 にエンコード

このオプションをオンにすると、音楽CDのアイコンを開き、トラックのアイコンをダブルクリックすることでエンコードを行うよう設定されます。

### 常にエンコード設定を開く

このオプションをオンにすると、エンコードを行う際、常に“エンコード設定”を開き、設定を行ってからエンコードを開始するよう設定されます。

### 保存フォルダ名称(半角 27 文字以下)

ドラッグ&ドロップやエンコードパネルから音楽CD全体のエンコードを行った際に、全曲のファイルが保存されるフォルダの名称を設定できます。プルダウンから選択することで、CDDDBから取得した情報のうち、デフォルトで表示されている“アルバム名”に、アーティスト名、ジャンルなどを追加し、フォルダ名称として設定できます。一度設定した情報を名称から外したい場合は、入力エリアから文字列を削除してください。

### エンコード済みトラック名称(半角 31 文字以下)

ドラッグ&ドロップやエンコードパネルから音楽CDのトラック単位のエンコードを行った際に、作成されるファイルの名称を設定できます。プルダウンから選択することで、CDDDBから取得した情報のうち、デフォルトで表示されている“トラック番号” - “曲名”に、アルバム名、アーティスト名などを追加し、ファイル名称として設定できます。一度設定した情報を名称から外したい場合は、入力エリアから文字列を削除してください。

## デフォルトに復帰

フォルダ名称やトラック名称の設定をデフォルトに復帰させることができます。

---

## 第6章:MacMP3 プレーヤ

この章では、エンコード機能と並ぶ、もう一つの大きな機能の「プレーヤ」について説明します。

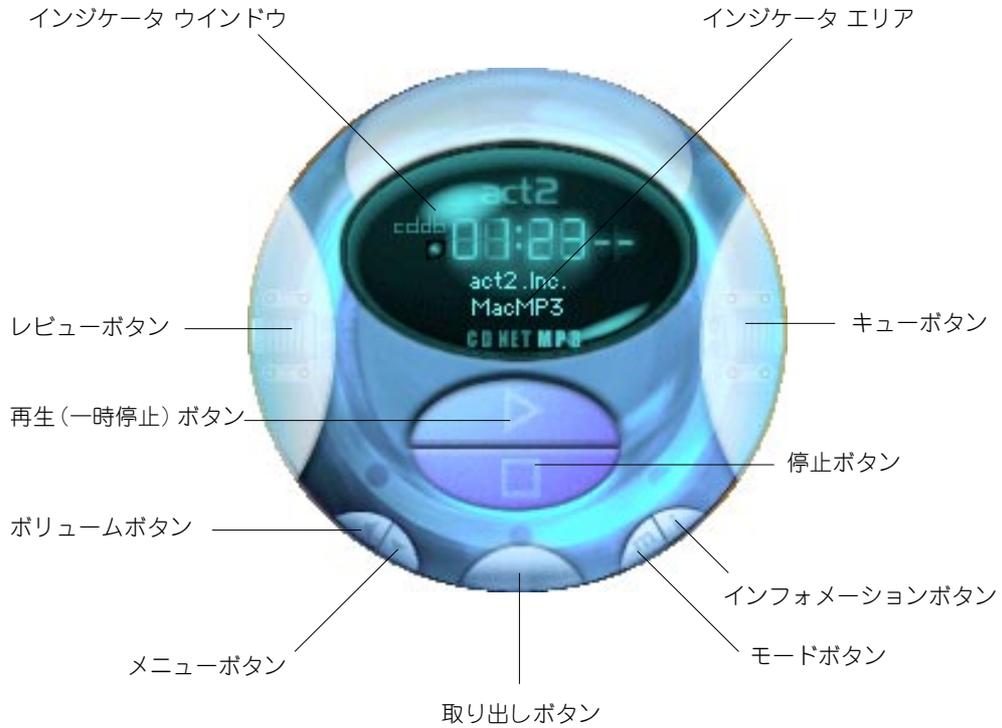
### コントロールウィンドウ

MacMP3 プレーヤの操作を行うインタフェースです。

各フェイスにはそれぞれインジケータウィンドウとインジケータエリア、操作ボタンが用意されています。フェイスの変更は“初期設定”パネルの“アピアランス”で行います。



機能は各フェイスに共通です。ここでは5色のタイプが用意されているi audionというフェイスを例に、まず各エリアやボタンの説明をします。



- インジケータウインドウ  
現在の再生状況等が表示されます。CD／MP3モードの場合、クリックすることで、トラック／ファイルの現在の再生位置を示すスライダを表示し、再生位置をコントロールすることができます。CDDDBにアクセスするとCDDDBランプが点滅します。
- インジケータエリア  
現在選択されているモード、再生しているトラック／ファイルや接続中のサーバの情報が表示されます。表示をスクロールさせることも可能です。
- 再生(一時停止)ボタン  
トラック／ファイル／サーバの再生を開始します。再生中は一時停止ボタンに変化します。一時停止した状態で再度再生ボタンをクリックすると一時停止が解除され、トラック／ファイル／サーバの再生を再開します。
- 停止ボタン  
トラック／ファイル／サーバの再生を停止します。

- 
- キューボタン  
トラック／ファイルの再生をキューします。ワンクリックで次のトラック／ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック／ファイルを早送りします。
  - レビューボタン  
トラック／ファイルの再生をレビューします。ワンクリックでそのトラック／ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック／ファイルを巻き戻します。
  - 取り出しボタン  
マウントしている音楽CDを取り出します。
  - メニューボタン  
“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“プレイリストフォルダ”に保存されているプレイリストをダイレクトに選択することができます。また、ストリーミングガイドウインドウを開いたり、再生中の音楽ソースをプレイリストに追加することができます。  
一番下には開いているプレイリストが表示されます。
  - インフォメーションボタン  
インフォメーションウインドウを開き、現在再生しているCD、MP3ファイルや接続中のサーバの情報を表示します。
  - モードボタン  
ワンクリックでMP3→NET→CDの順にモードを切り替えます。押し続けることでモードのリストを表示し、選択することが可能です。
  - ボリュームボタン  
MacMP3プレーヤの音量を調節するスライダを表示します。

## MP3 ファイルを聴く

MP3ファイルを再生する場合、“MP3モード”を使用します。モードの切り替えはモードボタンを使用するか、インジケータエリアで“MP3”をクリックして行います。

MP3モードでは、プレーヤ上のすべてのボタンがアクティブになり、使用可能となります。MP3ファイルの再生には、ファイルから再生する方法とプレイリストから再生する方法があります。

## <ファイルから再生する>

以下のいずれかの手順でMP3ファイルを再生することができます。

1. MP3ファイルをダブルクリックする
2. MP3ファイルをプレーヤ上にドラッグ&ドロップする
3. MP3ファイルをプレーヤのアイコンにドラッグ&ドロップする
4. ファイルメニューから“開く...”を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する
5. プレイリストが選択されていない場合は、プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する

## <プレイリストから再生する>

プレイリストを再生することで、プレイリスト内に登録されているMP3ファイルを再生することができます。プレイリストの再生方法は後述の「プレイリストについて」をご参照ください。

## 音楽 CD を聴く

音楽CDを再生する場合、“CDモード”を使用します。モードボタンを使用するか、インジケータエリアで“CD”をクリックして行います。

CDモードでは、音楽CDをマウントした状態の時、プレーヤ上のすべてのボタンがアクティブになり、使用可能となります。

プレーヤの再生ボタンを押すか、コントロールメニューの“再生”を選択し、マウントしている音楽CDのトラックを再生します。

音楽CDの再生中にツールメニューから“この曲をMacMP3でエンコード” “このCDをMacMP3でエンコード”を選択すると、再生中のトラック／CDをMP3ファイルにエンコードすることが可能です。

このモードでは音楽CDがマウントされると、編集メニューの“初期設定”パネル内の“ネットワーク”タブの設定に従ってCDDDBの情報を検索し、取得した情報をインジケータエリアに表示します。なお、CDDDBの情報を検索・取得するには、インターネットに接続している必要があります。

エンコーダが検索したCDDDB情報と同様、この情報はツールメニューから再生中のトラック／CDをMacMP3にエンコードした場合にも保持されます。また、

---

一度取得したCD情報はMacMP3によってシステム内に保存され、次回以降同じCDをマウントした時に参照できます。

CDDDBから取得した情報は、デスクトップ上にマウントされたCDのアイコンやトラックファイルのアイコンの名称に反映され、MacMP3プレーヤのインジケータエリアやインフォメーションウィンドウに表示されます。

また、プレイリストを再生することで、プレイリスト内に登録されているCDトラックを再生することができます。プレイリストの再生方法は後述の「プレイリストについて」をご参照ください。

## ストリーミング再生を聴く

ストリーミング再生でMP3ファイルを受信／再生する場合、「NETモード」を使用します。NETモードをお使いになるには、インターネットに接続している必要があります。モードボタンを使用するか、インジケータエリアで“NET”をクリックして行います。

NETモードでは、レビュー／キュー／取り出しボタンは使用できず、再生状態に応じて再生ボタンと停止ボタンのいずれか一方だけがアクティブになります。プレーヤの再生ボタンを押すか、ファイルメニューの“サーバを開く...”を選択すると、“サーバに接続”ダイアログが表示され、接続先のアドレスやポート番号を入力することでストリーミング再生を開始します。

また、ストリームガイドウィンドウからサーバに接続し、ストリーミング再生を行うことも可能です。初めてNETモードをお使いになる場合は、ストリームガイドのご使用をおすすめいたします。

ストリームガイドからの再生は、以下の手順で行います。

### <ストリームガイドからストリーミング再生する>

プレーヤのメニューボタンから“ストリームガイドを開く...”、またはツールメニューの“ストリームガイド”を選択し、ストリームガイドウィンドウを表示します。

MacMP3プレーヤは人気のあるサーバを検索してURLや転送速度、リスナーの状態等の情報をストリームガイドとして表示します。接続したいサーバをダブルクリックするか、プレーヤ上にドラッグして再生を開始します。

ストリーミングガイドウィンドウに表示されるサーバの数は“初期設定”パネル

で指定します。詳しくは後述する「メニュー」の「編集メニュー」内「初期設定」の説明箇所を参照してください。

## < プレイリストから再生する >

プレイリストを再生することで、プレイリスト内に登録されているストリームサーバを再生することができます。プレイリストの再生方法は後述の「プレイリストについて」をご参照ください。

## プレイリストについて

プレイリストとはMP3ファイル、ストリームサーバ、CDトラックといった音楽ソースを複数登録し、再生順などの情報のセットを1つのファイルとして保存するものです。異なるソースの組み合わせも、セットを作成後に名称をつけ、複数保存することが可能です。

MacMP3 プレーヤではプレイリストの作成、選択、再生が可能です。

### 1. プレイリストを作成する

ファイルメニューから“新規プレイリスト”を選択し、プレイリストウィンドウを開きます。

プレイリストウィンドウ内にMP3 ファイルをドラッグし、リストに追加します。

作成したプレイリストは、ファイルメニューから“プレイリストを保存”“プレイリストを別名で保存...”を選択して保存することで、次の「2.プレイリストを選択する」の手順でいつでも選択し、再生することができますようになります。

プレイリストを作成したら、プレーヤの再生ボタンを押すか、コントロールメニューの“再生”を選択し、リスト内のソースを再生します。

### 2. プレイリストを選択する

以下のいずれかの方法ですでに作成されているプレイリストを選択します。

- ファイルメニューの“開く”を選択
- ファイルメニューから“プレイリストを開く”を選択

---

（“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“プレイリスト”フォルダに保存されているプレイリストがリストされます）

- メニューボタンの“プレイリストを開く”サブメニューから選択  
（“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“プレイリスト”フォルダに保存されているプレイリストがリストされます）
- プレイリストファイルのアイコンをプレーヤにドラッグ&ドロップ  
選択することでプレイリストウィンドウが開きますので、プレーヤの再生ボタンを押すか、コントロールメニューの“再生”を選択し、プレイリストを再生してください。  
また、開いているプレイリストウィンドウ内のソースをダブルクリックすることでも再生を開始できます。  
プレイリストを切り替える場合、再生を停止してプレイリストを閉じ、新しいプレイリストを開きます。

“MacMP3 v.3 フォルダ”内の“プレイリスト”フォルダにプレイリストを保存することで、ファイルメニュー内の“プレイリストを開く”やメニューボタンからダイレクトに選択し、開くことができるようになります。

## プレイリストウィンドウについて

プレイリストウィンドウでは登録されている音楽ソースがリスト表示されます。以下の情報の中から、“初期設定”パネルの“詳細設定”タブで設定した項目情報が表示され、各項目ごとにソートすることができます。

- 順番
- タイトル
- 演奏時間
- アーティスト
- アルバム
- トラック
- ビットレート
- ジャンル
- 年
- コメント

- カウンタ
- 評価

この列順はドラッグして好みの順番に並び替えることが可能です。

ウインドウ内で command キーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウインドウをスクロールすることができます。

ウインドウ上部には、リストに含まれている項目数、すべての項目の演奏時間の合計が表示されます。

### <プレイリストに項目を追加する>

以下の方法で追加することができます。

- Finder、ストリームガイドなどからプレイリストウインドウへ項目をドラッグします。(フォルダごとファイルを追加したり、CDごとトラックを追加したりすることもできます。)
- プレイリストメニューから“再生中の曲をプレイリストに追加...”、またはメニューボタンから“再生中の曲をプレイリストに追加”を選択し、再生しているMP3、ストリームサーバ、CDトラックなどを現在アクティブになっているプレイリストに追加します。

### <プレイリストの演奏順を変更する>

以下の方法で変更することができます。

- プレイリストウインドウ上部の“順番”“名前”“演奏順”等のラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順／降順でソートし、表示順を変更します。その後、プレイリストメニューから“順番をふりなおす”を選択し、表示順通りに“順番”を変更してください。
- プレイリストウインドウ内で項目をドラッグして順番を変更し、プレイリストメニューから“順番をふりなおす”を選択してください。
- プレーヤのプレイリストメニューから“順番をランダムにする”を選択してリスト内の順番をランダムに変更し、プレイリストメニューから“順番をふりなおす”を選択してください。

---

## < プレイリストから項目を削除する >

リスト内で項目を選択してdeleteキーを押す、または編集メニューの“消去”を選択することで、リストから項目を削除することができます。

ただしMP3などファイルの場合、上記の方法であればオリジナルのファイルをそのままに、リスト内でのみファイルが削除されますが、リスト内からファイルをゴミ箱へドラッグした場合は、リストから項目が削除されるのと同時に、オリジナルのファイルがゴミ箱に移動しますので、注意が必要です。

その他の詳細については、後述の「ウインドウメニュー」の「プレイリスト」をご参照ください。

## メニュー

### ファイルメニュー



### 新規プレイリスト

このコマンドを選択すると、新しくプレイリストウインドウを開き、新規のプレイリストを作成することができます。

### 新規コントロールウインドウ

このコマンドを選択すると、新しくMacMP3プレーヤのコントロールウインドウを起動し、2曲同時に再生することができます。

この場合、ツールメニューの“ミキサー”からミキサーウインドウを開き、各コントロールウインドウの音量バランスを調整することが可能です。

ミキサーウインドウの詳細については、後述の「ツールメニュー」の「ミキサー」をご参照ください。

**開く...**

このコマンドを選択すると、「開く」ダイアログが表示され、MP3ファイルやプレイリストファイル、CDトラックなどを選択することができます。MP3ファイルやCDトラックを開くと自動的に再生され、プレイリストを開くとプレイリストウインドウが表示されます。この場合、リスト内のソースをダブルクリックするか、再生ボタンをクリックして再生を開始します。

**サーバを開く...**

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的にNETモードに切り替わります。“サーバに接続”ダイアログで接続先のアドレスを入力し、ストリーミング再生を開始することができます。

**プレイリストを開く**

このコマンドを選択すると、サブメニュー内に“プレイリストフォルダを更新”というコマンドが表示されます。MacMP3起動後に“MacMP3 v.3 フォルダ”内“プレイリスト”フォルダにプレイリストを追加した場合、このコマンドで最新の情報を取得することができます。

また、一番下には“プレイリスト”フォルダ内のプレイリストの名称がリスト表示され、ダイレクトに選択することが可能です。

**閉じる**

アクティブになっているプレイリスト、ストリームガイド、インフォメーション等のウインドウやコントロールウインドウを閉じます。

**プレイリストを保存**

選択しているプレイリストに変更があった場合、同名で上書き保存します。

**プレイリストを別名で保存 ...**

選択しているプレイリストを別名で保存することができます。“保存”ダイアログでプレイリストの新しい名称を入力し、保存します。

**サーバを別名で保存 ...**

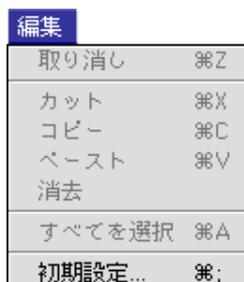
選択しているサーバを別名で保存することができます。“保存”ダイアログでサーバの新しい名称を入力し、保存します。

---

## 終了

再生を中止し、MacMP3プレーヤを終了します。

## 編集メニュー



### 取り消し

直前の操作を取り消します (操作によっては取り消せないことがあります)。

### カット / コピー / ペースト / 消去

選択状態にあるファイル名などのテキストに対して有効です。ペーストは、クリップボードにテキストデータがある場合にアクティブになります。

### すべてを選択

アクティブになっているウインドウ内の項目をすべて選択します。

### 初期設定

MacMP3プレーヤの設定を行う初期設定パネルを表示します。

設定項目を変更した場合、“保存” をクリックすると変更箇所が保存され、有効になります。“キャンセル” をクリックすると変更は反映されず、変更前の設定のまま初期設定パネルを閉じます。

初期設定パネルには“アピアランス” “一般設定” “詳細設定” “ネットワーク” の4つのタブがあります。以下にそれぞれの設定項目を説明します。

## &lt;アピアランス&gt;



## フェイス選択ウインドウ

MacMP3プレーヤのフェイス(アピアランス)を選択できます。左側のウインドウには、“MacMP3 v.3フォルダ”内の“フェイス”フォルダにあるフェイスデータが表示されます。デフォルトでは10のフェイスがインストールされますが、アクト・ツーWEBサイト内のMacMP3サイト (<http://mp3.act2.co.jp/>) からダウンロードしたフェイスや、ユーザが自分で作ったフェイスを追加する場合、この“フェイス”フォルダにデータファイルを追加することで、左側のウインドウにフェイスが表示され、選択されたフェイスの紹介画像が右側のウインドウに表示されます。

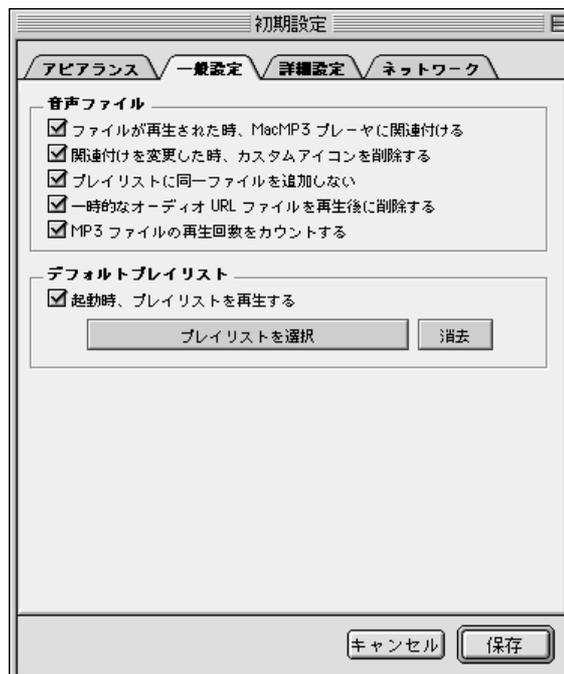
 アルファチャネルの使用(シャドウ、トランスルーセント等)

この項目をチェックすると、各フェイスのシャドウやトランスルーセントのテクスチャを表現するため、アルファチャネルを使用します。

 コントロールウインドウのライブドラッグを可能にする

この項目をチェックすると、MacMP3プレーヤをドラッグして移動した際、アウトラインのみの表示とならずに、アピアランスを保持したまま移動することができます。

## < 一般設定 >

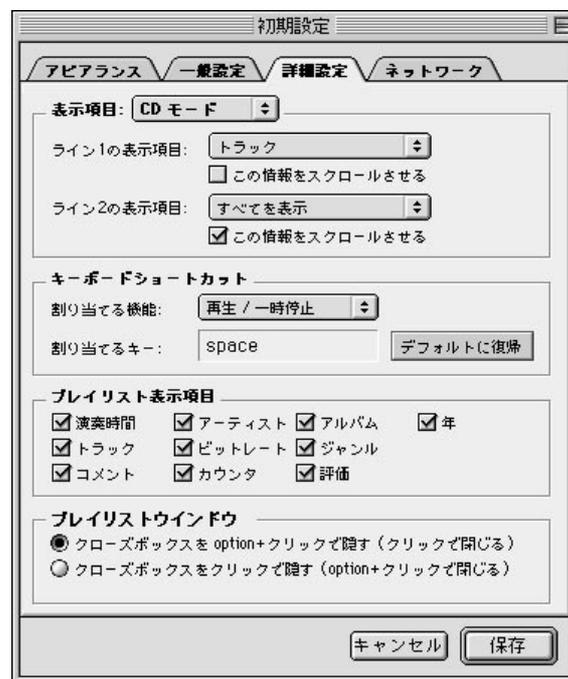


### 音声ファイル

- ファイルが再生された時、MacMP3 プレーヤに関連付ける  
一度MacMP3プレーヤで開こうとしたファイルに対し、自動的にMacMP3のタイプとクリエータを付加するかどうかを設定します。
- 関連付けを変更した時、カスタムアイコンを削除する  
カスタムアイコンを持っているファイルをMacMP3に関連付けた時、カスタムアイコンを削除してMacMP3ファイルのアイコンを表示するかどうかを設定します。
- プレイリストに同一ファイルを追加しない  
すでにプレイリストに追加されている音楽ソースを同一のリストに再度追加しようとした際、強制的にスキップするかどうかを設定します。
- 一時的なオーディオ URL ファイルを再生後に削除する  
ブラウザを使用してMP3ファイルをダウンロードした場合、MP3ファイルは指定のダウンロードフォルダに保存されます。MacMP3をMP3ファイルのダウンロードヘルパーとして設定していると、ダウンロード終了後にMacMP3プレーヤが起動し、ダウンロードしたファイルの再生を開始します。この時、ファイルをハードディスク上に残さず、ダウンロード後に再生だけしたい場合には、この項目をチェックすることで、再生後にダウンロードした一時ファイルを自動的に削除することができます。

- MP3 ファイルの再生回数をカウントする  
MP3 ファイルが MacMP3 プレーヤで何回再生されたかをカウントします。
- 起動時、プレイリストを再生する  
この項目をチェックすることで、MacMP3 プレーヤ 起動時に自動的にプレイリストの再生を行うように設定することができます。“プレイリストを選択”ボタンで再生するプレイリストを選択し、“消去”ボタンで選択を解除します。項目をチェックしていても、プレイリストが選択されていないと自動再生は行われません。

### < 詳細設定 >



#### 表示項目

インジケータウインドウの表示項目を設定するモードをポップアップメニューから選択します。CD / MP3 / NET の各モードが選択可能です。

#### ライン 1 / 2 の表示項目

選択したモードの再生時にライン 1 / 2 に表示される項目をポップアップメニューから選択します。

#### この情報をスクロールさせる

チェックボックスをオンにすることで、“ライン 1 / 2 の表示項目” ポップアップメニューで設定した表示項目を各ライン内でスクロールさせることができます。

---

す。そのままではインジケータエリアに表示し切れない、長いタイトルやアーティスト名などの表示に便利です。

### キーボードショートカット

キーボードショートカットの割り当てを設定することができます。

“割り当てる機能” ポップアップメニューから機能を選択し、割り当てたいショートカットキーを押すと、“割り当てるキー” エリアに表示され、設定されます。設定を元に戻したい場合は“デフォルトに復帰” ボタンで、デフォルトで割り当てられていたショートカットキーに設定し直します。

### プレイリスト表示項目

プレイリスト内に登録されているソースの情報としてプレイリストウインドウに何を表示するか、チェックボックスで選択します。

ただし、これらの項目は基本的にMP3のタグ情報に準拠しているため、ストリームサーバやCDトラックの場合は保持できない情報もあります。

### プレイリストウインドウ

ラジオボタンをオンにすることで、開いているプレイリストのウインドウを非表示にするための方法を設定できます。

この機能は、複数のプレイリストを同時に開いているときなどに、使用していないプレイリストのウインドウを隠す場合に便利です。

非表示になっているプレイリストを再度表示させる場合は、ウインドウメニュー（開いているプレイリストがリストされ、非表示のものには名称の先頭に“◆”マークがつきます）から選択します。

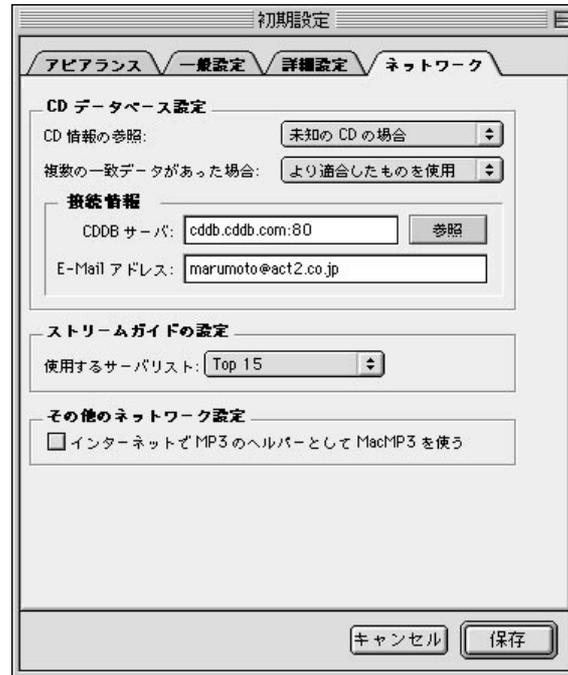
クローズボックスを option+ クリックで隠す (クリックで閉じる)”

このオプションを選択した場合、ウインドウ左上のクローズボックスを option キーを押しながらクリックすることでウインドウが隠れ、何も押さずにクリックすることでウインドウが閉じるように設定されます。

クローズボックスをクリックで隠す (option+ クリックで閉じる)”

このオプションを選択した場合、何も押さずにクローズボックスをクリックすることでウインドウが隠れ、option キーを押しながらクリックすることでウインドウが閉じるように設定されます。

## &lt;ネットワーク&gt;



## CD データベース設定

CD 情報の参照



どのような場合に CD データベースの検索を行うかを設定します。

**未知の CD の場合:**

一度 CD データベースから取得した CD 情報は MacMP3 プレーヤによってハードディスク内に保持されます。この項目を選択すると、ハードディスク内に情報が存在していない CD をマウントした場合のみ、CD データベースの検索を行うよう設定します。

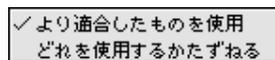
**常にする:**

マウントした CD すべてについて CD データベースの検索を行うよう設定します。

**常にしない:**

マウントした CD すべてについて CD データベースの検索を行わないよう設定します。

複数の一致データがあった場合



CD データベースの検索結果として、マウントしている CD のシリアル番号に該当する候補が複数見つかった場合の確定方法を設定します。

---

より適合したものを使用：

CDのシリアル番号以外に演奏時間などの情報を照合し、複数候補の中から最も適合したものを使用します。

どれを使用するかたずねる：

ダイアログを表示し、どの候補を使用するかユーザに訊ねます。

## 接続情報

### CDDDB サーバ

CD 情報を取得するために検索を行うデータベースサーバを設定します。“参照”ボタンを押すことで使用可能なサーバが表示され、一番近いサーバを選択することができます。

### E-Mail アドレス

CDDDB サーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だと接続できないことがありますので注意してください。

## ストリームガイドの設定

使用するサーバリスト



ストリームガイドに表示されるストリームサーバの数を設定します。

## その他のネットワーク設定

インターネットでMP3のヘルパーとして MacMP3 を使う

インストール後、初めてMacMP3プレーヤを起動したとき、InternetConfigまたは“インターネット”コントロールパネルに対し、MacMP3プレーヤをMP3ファイルのヘルパーとして追加し、関連付けを行うかどうかを設定することができます。この項目で、その設定を変更し、ヘルパーの関連付けの追加／削除を行うことができます。

## コントロールメニュー

コントロール	
再生	
停止	⌘T
曲送り	⌘]
曲戻し	⌘[
ミュート オン	⌘-
取り出し	⌘E

### 再生 / 一時停止

トラック / MP3ファイルの再生を行います。プレーヤの再生ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。トラック / MP3ファイルの再生中に選択すると一時停止し、再度選択することで一時停止を解除します。

### 停止

トラック / MP3ファイルの再生を停止します。プレーヤの停止ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。

### 曲送り

音楽CDやプレイリスト内の次のトラック / 項目にスキップします。プレーヤのキューボタンを押した場合と同様の操作が行えます。

### 曲戻し

音楽CDやプレイリスト内の次のトラック / 項目に戻ります。プレーヤのレビューボタンを押した場合と同様の操作が行えます。

### ミュート オン / オフ

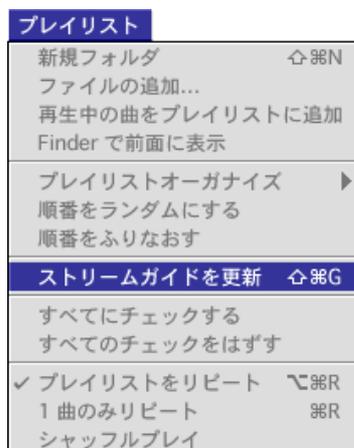
プレーヤでの再生を消音します。再生中に選択すると消音し、再度選択することで消音を解除します。

### 取り出し

マウントしている音楽CDの取り出しを行います。プレーヤの取り出しボタンを押した場合と同様の操作が行えます。使用できない場合にはグレイアウトし、選択不可能な状態になります。

---

## プレイリストメニュー



### 新規フォルダ

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウの中に“名称未設定フォルダ”という新規フォルダを作成します。

### ファイルの追加 ...

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウの中に新規のファイル/トラックを追加することができます。

### 再生中の曲をプレイリストに追加

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウの中に再生中のファイル/トラック/サーバを追加することができます。

### Finder で前面に表示

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。ウィンドウ内で項目を選択し、このコマンドを選択すると、Finder でそのファイルの保存されているフォルダのウィンドウを開きます。

### プレイリストオーガナイズ

プレイリストに登録されている項目を、MP3ファイルのID3タグの“アーティスト”などの情報でフォルダ分けすることができます。このコマンドはプレイリスト内に登録されている項目のうち、MP3ファイルと、CDDDB から情報を取得しているCDトラックに対してのみ適用されます。

“アーティスト別”でオーガナイズすると、アーティスト名のフォルダの中で、アルバム名でのフォルダ分けを行います。アーティスト名やアルバム名でだけオーガナイズをしたい場合、“アルバム別のみ”“アーティスト別のみ”を選択してください。

### 順番をランダムにする

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウのMP3 ファイルの再生順をランダムに並び替えます。

### 順番をふりなおす

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウのファイル/トラックの順番を変更した後、このコマンドを選択して再生順を更新します。

### ストリームガイドを更新

ストリームガイドウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。ストリームガイドウィンドウを開くと、編集メニューの“初期設定”パネル内の“ネットワーク”タブで設定したサーバリストが検索され、表示されます。サーバのリストは約5分間隔で更新されており、このコマンドによって、一度検索/表示した情報を最新の情報に更新することができます。

### すべてにチェックする

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウの項目のチェックボックスを一括でオンにし、すべての項目を再生するよう設定することができます。

### すべてのチェックをはずす

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。アクティブになっているプレイリストウィンドウの項目のチェックボックスを一括でオフにし、すべての項目を再生しないよう設定することができます。

### プレイリストをリピート

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。このコマンドをチェックしておくと、アクティブになっているプレイリストで最後

---

の項目の再生を終了した後、自動的にリストの一番最初から繰り返して再生することができます。

### 1 曲のみリピート

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。

このコマンドをチェックしておく、再生中のファイル/トラックを自動的に繰り返して再生することができます。

このコマンドはプレイリストから再生している項目にのみ適用され、ファイル/トラックから直接再生を行っている場合には有効になりません。

### シャッフルプレイ

プレイリストウィンドウがアクティブになっている場合に選択できます。

選択中のプレイリスト内の項目の順番をランダムにシャッフルします。

## ツールメニュー



### アラームクロック

MP3のタイマー再生を設定するウィンドウを表示します。



アラームを使用する

MP3のタイマー再生を行う場合にチェックします。

再生の開始時刻

タイマー再生を行う時間を設定します。

開始時刻に再生する項目

“ファイル／プレイリストの選択” ボタンをクリックし、選択ダイアログからタイマー再生を行うファイルを選択します。

## コンソール

MacMP3プレーヤに関する各種の機能を設定するコンソールウインドウを表示します。

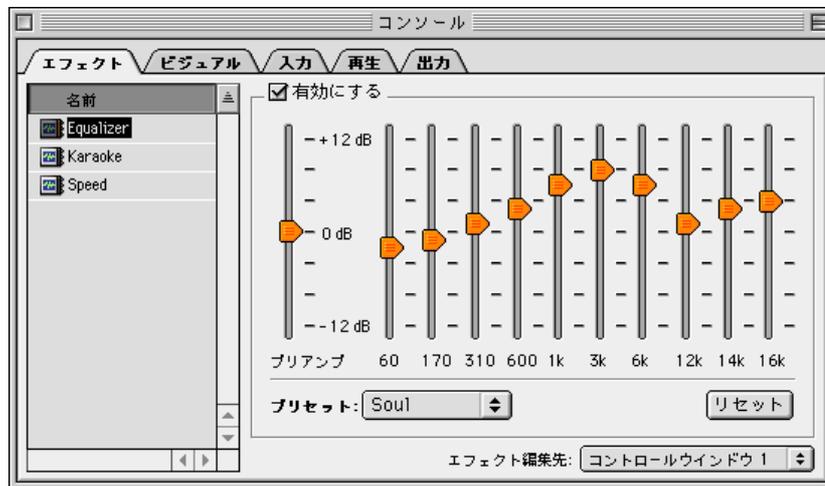
このウインドウで各タブを選択すると、各機能について現在有効なプラグインが左ウインドウ内にリストされます。このリストから選択したプラグインに対する設定を右ウインドウで行います。

プラグインは個別のファイルで提供され、“MacMP3 v.3 フォルダ” 内 “プラグイン” フォルダに保存されているものが有効になります。

### <エフェクト>

デフォルトでインストールされるプラグインは以下の通りです。

### イコライザ(Equalizer)



“有効にする” にチェックをすることで、イコライザ機能を使用可能にします。各スライダを使用してイコライジングを設定します。スライダによる設定は再生中の音声にリアルタイムに反映されるため、効果を確認をしながら設定を行うことができます。

“プリセット” ポップアップメニューから、再生するトラックの曲調などに応じて好みのセットを選択すると、あらかじめ登録されている設定を使用してファイル／トラック／サーバを再生することができます。

---

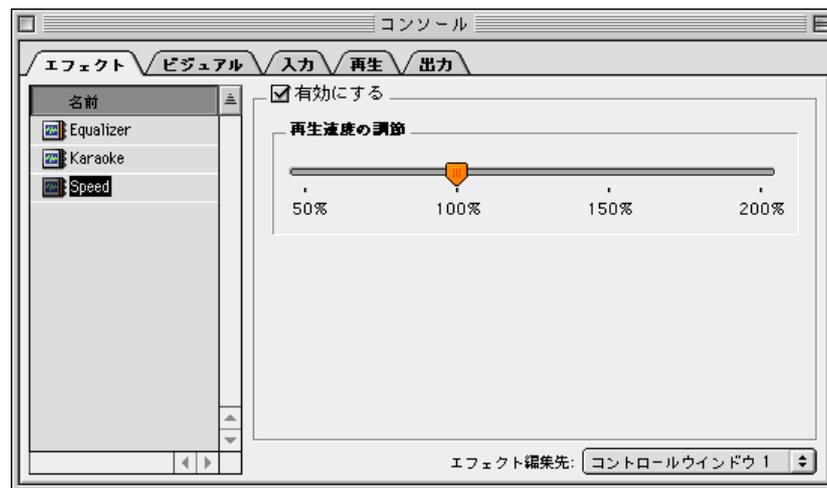
設定を取り消し、初期値に戻したい場合は“リセット” ボタンで設定をリセットします。複数のコントロールウィンドウで同時再生を行っている場合は“エフェクト編集先” でイコライジングを適用する対象を選択してください。

## カラオケ(Karaoke)

“有効にする” にチェックをすることで、カラオケ機能を使用可能にします。一般的なステレオのトラックにおけるボーカルを再生時にカットすることを目的とした機能を使用することができます。

複数のコントロールウィンドウで同時再生を行っている場合は“エフェクト編集先” でカラオケ機能を適用する対象を選択してください。

## スピード(Speed)



“有効にする” にチェックをすることで、再生速度のコントロール機能を使用可能にします。スライダを使用して50%から200%の間で再生速度を設定します。スライダによる設定は再生中の音声にリアルタイムに反映されるため、効果を確認をしながら設定することができます。

複数のコントロールウィンドウで同時再生を行っている場合は“エフェクト編集先” で再生速度の設定を適用する対象を選択してください。

### < ビジュアル >

“有効にする”にチェックをすることで左側のウインドウで選択したビジュアルプラグインを有効にします。

### < 入力 >

デフォルトでインストールされるプラグインは次の通りです。

### CD オーディオ (CD Audio)



“有効にする”にチェックをすることで、マウントしている音楽CDからの音声入力を可能にします。

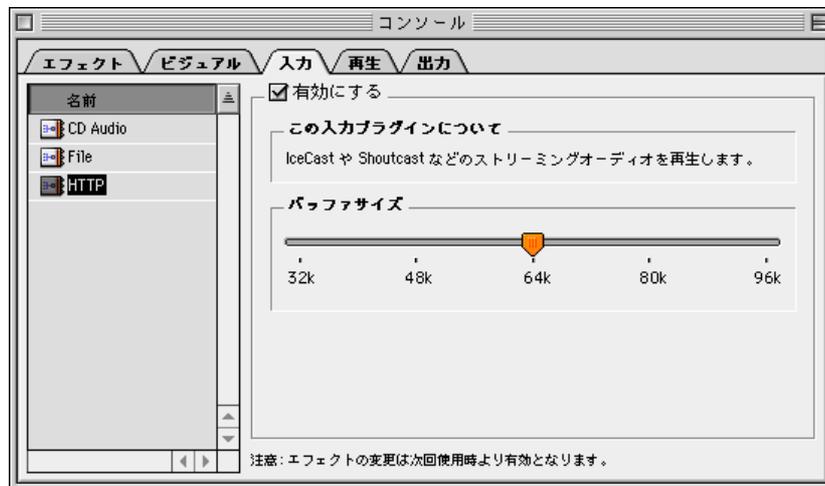
“バッファサイズ”のスライダを使用してCDオーディオ取り込み時のバッファサイズを設定します。読み込み速度の遅いCD-ROMドライブを使用している場合などにはバッファサイズを大きく設定することで、結果的にはスムーズな再生がサポートされることがありますが、再生を開始するまでに要する時間も増加するので注意が必要です。

### ファイル (File)

“有効にする”にチェックをすることで、ディスク上のサウンドファイルからの音声入力を可能にします。

---

## HTTP



“有効にする”にチェックをすることで、HTTPプロトコルを使用したストリーミングからの音声入力を可能にします。

“バッファサイズ”のスライダを使用してストリーミング音声取り込み時のバッファサイズを設定します。転送速度が遅い場合などにはバッファサイズを大きく設定することで、結果的にはスムーズな再生がサポートされることがありますが、再生を開始するまでに要する時間も増加するので注意が必要です。

### <再生>

デフォルトでインストールされるプラグインは以下の通りです。

#### AIFF

“有効にする”にチェックをすることで、AIFFフォーマットのファイルの再生を可能にします。

#### CD オーディオ (CD Audio)

“有効にする”にチェックをすることで、音楽CDのオーディオトラックの再生を可能にします。

#### MPEG (Shrike)

“有効にする”にチェックをすることで、Shrikeエンジンを使用したMP3 / MP2などのMPEGフォーマットファイルの再生を可能にします。

## WAVE

“有効にする” にチェックをすることで、WAVEフォーマットのファイルの再生を可能にします。

## <出力>

デフォルトでインストールされるプラグインは以下の通りです。

### Macintosh オーディオ (Macintosh Audio)



“有効にする” にチェックをすることで、MacMP3によるMacintoshの標準的なオーディオとしての再生を可能にします。

“トータルバッファサイズ(エフェクトを含む)” のスライダを使用してオーディオ再生のバッファサイズを設定します。処理性能が低いマシンでの再生を行う場合などには、バッファサイズを大きく設定することで音飛びを軽減できることがあります。例えばエフェクトの適用までに要する時間も増加するので、注意が必要です。

### カバーアートビューア

再生中のMP3ファイルに関して、ID3タグ情報として保持されたPEG画像をプレビューするカバーアートウィンドウを表示します。(タグに画像の情報を持っていないMP3ファイルやその他のソースの再生時には何も表示されません。) MP3ファイルのID3タグ情報に画像を含める方法については、後述の「MP3情報エディタ」の「アートワーク」をご参照ください。

---

## 情報を見る

再生中のファイル／トラック／サーバに関する情報を表示するインフォメーションウィンドウを表示します。

下部の“リンク”では音楽CD サイトに接続し、現在再生しているトラック／ファイルやストリーム再生中のMP3 ファイルのアーティスト名情報を参照し、そのアーティストがリリースしているアルバム情報の検索を行うことができます。

## MP3 情報エディタ

MP3 ファイルのID3 タグ情報を編集するMP3 情報ウィンドウを表示します。プレイリストウィンドウ内でMP3ファイルを選択し、このウィンドウを開くことでタグ情報の編集を行います。プレイリストウィンドウ内で複数のMP3ファイルを選択した場合は、選択したファイルすべての情報が一括で編集できます。また、MP3情報ウィンドウにMP3ファイルをドラッグしても同様に編集が行えます。

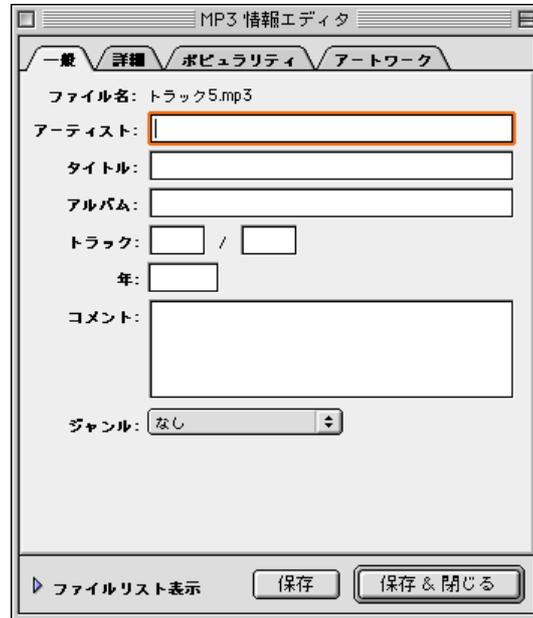
ウィンドウ左下の“ファイルリスト表示” 三角形をクリックすると、選択されているファイルのリストが表示されます。複数ファイルを選択している場合などに、選択されているファイルを確認しながら、それらに共通する情報だけを編集することができます。

編集した情報は“保存”ボタンをクリックすることで選択したMP3ファイルに反映されます。保存と同時にウィンドウを閉じる場合は“保存&閉じる”ボタンをクリックします。

このウィンドウでは多岐に渡るID3タグ情報の編集が行えますが、再生時にタグ情報を参照するには、お使いのMP3プレーヤがこれらのタグ情報をサポートしている必要があります。

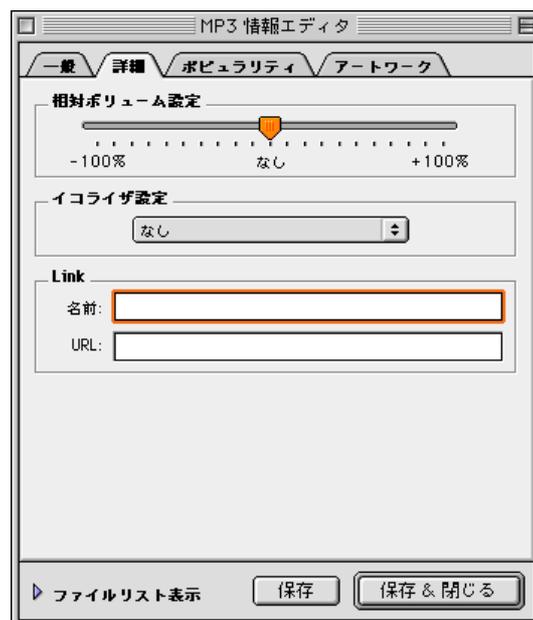
MP3 情報ウィンドウで編集できるID3 タグ情報は以下の通りです。

### <一般>



アーティスト名、アルバム名等、一般的な情報を編集します。このウィンドウで表示される情報の多くはCDDDBから取得した情報を反映させることができるものです。またプレイリストウィンドウ内で表示可能な情報のほとんどが、このウィンドウで編集できます。

### <詳細>



□相対ボリューム設定

スライダを使い、再生時の相対的な音量設定が行えます。もともとの録音レベルに差が見られるMP3ファイルを連続再生する場合などに、ファイル間のレベルのばらつきを調整することができます。

□イコライザ設定

ポップアップメニューからプリセットを選択し、再生時に適用するイコライジングの設定が行えます。

□リンク

リンク情報を入力できます。リンクの名称とリンク先のURLの設定が行えます。

## <ポピュラリティ>



・評価

スライダを使い、そのファイルの好感度の設定が行えます。この情報はプレイリストウインドウ内で表示可能なため、設定した好き／嫌いの割合によってリストをソートし、好きな順／嫌いな順の再生などに利用することができます。

・カウンタ

そのMP3ファイルを作成してからMacMP3プレーヤで再生した回数が表示されます。再生回数は、曲の途中で再生を停止した場合も1回としてカウントされます。この情報はプレイリストウインドウ内で表示可能なため、再生回数によってリストをソートし、よく聴く順／あまり聴かない順の再生などに利用することができます。

“リセット” ボタンをクリックすることで、保持している再生回数の情報を、一度も再生したことがない状態に戻すことができます。

## <アートワーク>



ウインドウ内のエリアにJPEG画像をドラッグし、再生時にカバーアートウインドウに表示する画像を設定することができます。画像の情報を削除する場合は delete キーを押してください。

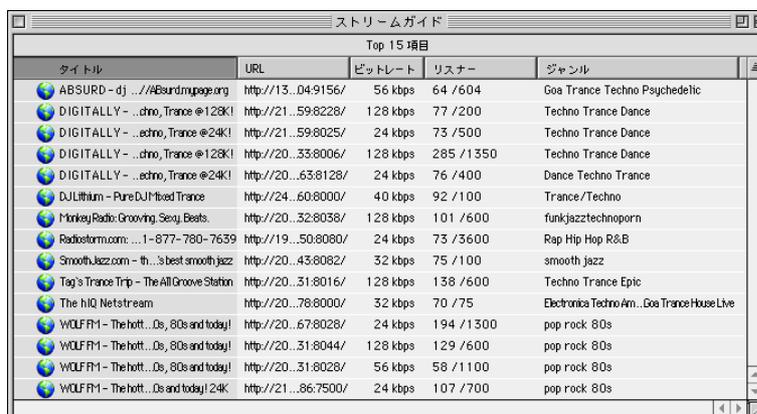
## ミキサー

2つのコントロールウインドウ間の再生音量のバランスを調整するミキサーウインドウを表示します。



“音源1” “音源2” のプルダウンメニューに現在開いているコントロールウインドウ(再生中の場合はソース名)が表示されます。音量調整を行う2つの音源をそれぞれ選択し、スライダを使ってバランスを調整することができます。

## ストリームガイド



タイトル	URL	ビットレート	リスナー	ジャンル
ABSURD - dj .../#Absurdmpage.org	http://13...04:9156/	56 kbps	64 /604	Goe Trance Techno Psychedelic
DIGITALLY - ...chno, Trance @128K!	http://21...59:8228/	128 kbps	77 /200	Techno Trance Dance
DIGITALLY - ...chno, Trance @24K!	http://21...59:8025/	24 kbps	73 /500	Techno Trance Dance
DIGITALLY - ...chno, Trance @128K!	http://20...33:8006/	128 kbps	285 /1350	Techno Trance Dance
DIGITALLY - ...chno, Trance @24K!	http://20...63:8128/	24 kbps	76 /400	Dance Techno Trance
DJLithium - Pure DJ Mixed Trance	http://24...60:8000/	40 kbps	92 /100	Trance/Techno
Monkey Radio: Grooving Sexy Beats.	http://20...32:8038/	128 kbps	101 /600	funkjazztechnoporn
RadioStorm.com: ...1-877-780-7639	http://19...50:8080/	24 kbps	73 /3600	Rap Hip Hop R&B
SmoothJazz.com - th...s best smooth jazz	http://20...43:8082/	32 kbps	75 /100	smooth jazz
Tag's Trance Trip - The All Groove Station	http://20...31:8016/	128 kbps	138 /600	Techno Trance Epic
The hiQ Netstream	http://20...78:8000/	32 kbps	70 /75	Electronica Techno Am...Goe Trance House Live
WOLFFM - The hott...Ds, 80s and today!	http://20...67:8028/	24 kbps	194 /1300	pop rock 80s
WOLFFM - The hott...Ds, 80s and today!	http://20...31:8044/	128 kbps	129 /600	pop rock 80s
WOLFFM - The hott...Ds, 80s and today!	http://20...31:8028/	56 kbps	58 /1100	pop rock 80s
WOLFFM - The hott...Ds and today! 24K	http://21...86:7500/	24 kbps	107 /700	pop rock 80s

ストリームガイドウィンドウを表示します。このウィンドウを表示すると、編集メニューの“初期設定”パネルのネットワークの設定に従って人気のあるサーバが検索され、“URL”“タイトル”“ビットレート”“リスナー”“ジャンル”が表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

ストリームガイドウィンドウ上部の“URL”“名前”“ビットレート”“リスナー”“ジャンル”ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順／降順でソートし、表示順を変更します。

ウィンドウ内でcommand キーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウィンドウをスクロールすることができます。

このウィンドウでサーバをダブルクリックするか、プレーヤにドラッグして再生を開始することができます。

## ビジュアライザ

再生に合わせて映像が動くビジュアライザウィンドウを表示します。

コンソールウィンドウのビジュアルタブで選択したビジュアルプラグインが表示されます。

## この曲を MacMP3 でエンコード

再生中のCDトラックをMP3 ファイルにエンコードします。CD モード使用時に選択可能です。

このコマンドを使用すると、MacMP3プレーヤによるCDの再生は自動的に中止され、MacMP3エンコーダによるエンコードが開始されます。

### この CD を MacMP3 でエンコード

再生中の音楽CDの全トラックをMP3 ファイルにエンコードし、“MacMP3設定” コントロールパネルで設定された場所にMP3ファイルを作成します。CDモード使用時に選択可能です。

その際、“MacMP3設定” コントロールパネルまたはMacMP3プレーヤの初期設定パネルの“保存フォルダ名称”の設定が反映されたフォルダが作成され、その中に全トラックのMP3ファイルが保存されます。

このコマンドを使用すると、MacMP3プレーヤによるCDの再生は自動的に中止され、MacMP3エンコーダによるエンコードが開始されます。

### ウィンドウメニュー



現在開いているコントロールウィンドウとプレイリストが表示されます。選択することでウィンドウをアクティブにすることができます。

プレイリストウィンドウを非表示にしている場合は、プレイリストの名称の先頭に“◆”がつきます。

---

## 第7章:FAQ(よくある質問と回答)

### 一般:

Q: MacMP3で市販の音楽CDからMP3ファイルを作成し、友人に配ろうと思うのですが何か問題はありますか?

A: 個人で楽しむ範囲内で市販の音楽CDをMP3ファイルにする場合は問題ないことがほとんどですが、著作権で保護された音源から作成したMP3ファイルを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって禁止されています。ご注意ください。

著作権に関する最新情報の詳細は、日本音楽著作権協会(JASRAC)のページ(<http://www.jasrac.or.jp/>)等をご覧ください。

Q: CDデータベース(CDDDB)とは、どんなものですか?

A: CDデータベース(CDDDB)は、インターネット上に存在するCDタイトル、アーティスト名、曲名等のデータベースです。MacMP3ではこのCDDDBに接続することによって、音楽CDの再生時やMP3ファイルへのエンコード時にそれらの情報を表示/反映することができます。CDDDBにアクセスするためには、インターネットに接続している必要があります。

### プレーヤ:

Q: 音楽CDをプレーヤで再生する際、CDデータベース(CDDDB)に接続しましたが、情報が取得できず「オーディオCD」と表示されます。

A: プレーヤの編集メニュー内“初期設定”パネルの“ネットワーク”タブで、“CDデータベース設定”項目のCD情報の参照を”常にする”もしくは“未知のCDの場合”に設定している場合、MacMP3はマウントした音楽CDの情報をCDデータベース(CDDDB)で検索します。このCDDDBは全世界に向けられたデータベースのため、日本で発売、発表された一部の音楽CDの情報は登録されていない場合があり、情報を取得できない時には、表示が「オーディオCD」のままとなります。今後、CDDDBに日本で発売、発表された音楽CDの情報が増えることで、解決してゆくでしょう。

- Q: ひとつのプレイリストに、同じ曲をいくつも登録することはできますか？
- A: プレーヤの編集メニュー内“初期設定”パネルの“一般設定”タブで、“プレイリストに同一ファイルを追加しない”のチェックを外しておくことで可能になります。
- Q: ひとつのプレイリストに何曲まで登録できますか？
- A: 制限はほとんどありません。少なくとも3000曲、合計再生時間にして250時間以上を登録することが可能です。
- Q: MP3再生でカラオケ機能を使用したところ、曲によってボーカルが残ったり、音質が劣化して聞こえます。
- A: MacMP3プレーヤのカラオケ機能は、一般的なトラックにおけるボーカル部分をカットするための機能です。そのため、元のトラックによっては、ボーカルが完全にはカットされなかったり、ボーカル以外の部分がカットされてしまい、音質が悪く聞こえることがあります。これはボーカルをカットするためのテクノロジーの仕様ですので、こういった曲のMP3を再生する際はカラオケ機能を使用しないことをおすすめします。
- Q: MP3ファイルを再生する際、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。
- A: 処理能力の低いプロセッサを搭載したMacintoshではそのようなことがあるかもしれません。この場合、仮想メモリを「切」にして再生してみてください。ほとんどの場合回避できると思われます。MacMP3のコンポーネントは完全なマルチタスクを実現しており、ある程度処理能力の高いプロセッサを搭載したMacintoshでは、MP3ファイルの再生中に他の大きなアプリケーションを立ち上げたり終了したりしても、音が途切れることはほとんどありません。
- Q: オリジナルのフェイスを作成したいのですが、どうしたらいいですか？
- A: ResEdit や AdobePhotoshop (R) など、PICT 画像の編集が可能なソフトをご使用になれる方ならどなたでもオリジナルフェイスを作成していただけます。
- アクト・ツーWEBサイト (<http://www.act2.co.jp/>)内のMacMP3サイト (<http://mp3.act2.co.jp/>)では、フェイスの作成方法を説明したPDFファイルがダウンロードできます。

---

また、MacMP3サイトのフェイスコーナー (<http://mp3.act2.co.jp/face/>) では、オリジナルフェイスの作成手順を詳しくご案内しています。PDFと併せてご覧いただき、ぜひ好みのフェイスを作成してみてください。

Q: プレーヤの一部が欠けて表示されることがあります。

A: 描画能力の低い一部のMacintoshでは、プレーヤの一部が欠けてしまうことがあるかもしれません。その時は、プレーヤの編集メニュー内“初期設定”パネルの“アピアランス”タブで、“アルファチャネルの使用”のチェックを外すと回避できる可能性があります。

また、プレーヤをドラッグで移動した際の再描画によって表示の一部が欠けるような場合には、“アピアランス”タブの“コントロールウインドウのライブドラッグを可能にする”のチェックを外してみてください。

Q: Windowsマシンで作成したMP3ファイルをMacMP3で再生することはできますか？

A: 可能です。ただし、Windowsで作成されたMP3ファイルには、Macintoshプラットフォーム上でMP3ファイルだと認識させるために必要な「ファイルタイプ」と「クリエータ」情報が含まれていない場合があります。これらの情報を編集／追加できるツール(File Buddyなど)を使用し、タイプを『MP3』（最後に半角スペースが入ります）に編集することでMacMP3でも再生できるようになります。

Q: MacMP3プレーヤの操作をAppleScriptで自動化したいのですが？

A: Mac OSに付属している“スクリプト編集プログラム”を起動し、ファイルメニューから“用語説明を開く...”の選択ダイアログで“MacMP3プレーヤ”を選択してください。MacMP3プレーヤを制御するために使用できるAppleScriptのコマンドの用語集を参照することができます。

## エンコーダ:

Q: MacMP3エンコーダを起動し、パネルからエンコード方法を選択してエンコードを行ったところ、エンコードの最中にパネルを閉じると、エンコードが終了してしまいました。

A: MacMP3エンコーダのウィザード画面を閉じると、MacMP3エンコーダ

のアプリケーションが終了します。ウィザード画面からエンコードを行っている場合は、この画面を閉じないように注意してください。

音楽CDからのエンコードを行う場合、CDからトラックをドラッグ&ドロップしたり、プレーヤのモードメニューから“この曲をMacMP3でエンコード”“このCDをMacMP3でエンコード”を選択することでもMP3を作成できます。エンコーダ画面を開いたままにたくない場合、これらの方法と併せて使い分けていただくことをおすすめします。

Q: MacMP3で作成したMP3ファイルを、CD-Rに保存してCDプレーヤで聞くことは可能ですか？

A: オーディオCDとMP3では音声データの規格が全く異なるため、一般のオーディオCDプレーヤでMP3ファイルを再生することはできません。MP3フォーマットのサウンドファイルから一般的なオーディオCDを作成するためには、MP3からAIFFへのデコードを行うエンジンが必要となります。

AIFFにデコードせず、単純にMP3を保存しただけのCD-RをオーディオCDプレーヤで強制的に再生しようとする、大きな雑音が再生され、耳を痛めたり、スピーカが壊れるなどの音響機器の故障につながる可能性がありますので、絶対に行わないでください。

Q: 音楽CDをマウントしましたが、CD名やトラック名がOS標準の名称になったままです。インターネットに接続できる環境は整っています。

A: MacMP3エンコーダを起動し、編集メニュー内の「CDDB設定…」パネルを確認してください。“CD情報の参照”が“使用しない”に設定されている場合、MacMP3エンコーダはCDDDBに接続し、マウントした音楽CDの情報を検索することはありません。情報を取得したい場合は“オンライン時のみ”もしくは“常に”に設定してください。“オンライン時のみ”に設定されている場合、インターネット接続が確立し、音楽CDがマウントされ、Webブラウジング等データの転送が行われた段階でCDDDBを参照します。インターネットに常時接続されている環境であれば、“常に”に設定することをおすすめします。

---

Q: 音楽CDからトラックをドラッグ&ドロップする以外のエンコード方法がありますか?

A: “MacMP3設定” コントロールパネル内 “トラックのダブルクリックでMP3にエンコード” にチェックを入れることで、CDトラックをダブルクリックしてのエンコードが可能です。その際、MP3ファイルのエンコード先は、“エンコード設定” パネル内 “ファイルの保存先” で指定した場所になります。また、MacMP3エンコーダを起動し、ウィザード画面のボタンからエンコードを行うことも可能です。

Q: 機能拡張フォルダから「MacMP3機能拡張」を外した状態で、音楽CDからエンコードすることは可能ですか?

A: 可能です。“MacMP3 v.3 フォルダ” にインストールされている “MacMP3エンコーダ” アプリケーションに音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップしてください。また、このアプリケーションをダブルクリックして起動すると、エンコーダのウィザード画面が表示されます。ここからエンコード方法のボタンを選択し、音楽CD、AIFF やWAV ファイル、内蔵／外部マイクから入力した音声などをMP3にエンコードできます。

Q: CDからMP3ファイルの作成にはどれくらいの時間がかかりますか?

A: MP3ファイルの作成にかかる時間は、そのエンコードしようとしているMacintoshの処理速度とCD-ROMドライブの読み出し速度に深く依存します。例えば、iMac (G3 350) でエンコードを行った場合、デフォルトの設定ではオリジナルのCDの再生時間の約1/3～1/4がエンコードに要する時間の目安となります。

Q: 可変ビットレート (VBR) とはなんですか?

A: 通常、MP3ファイルへのエンコードする際は決められたビットレート (128kbps など) でエンコードしますが、VBRエンコードを使用することで、ビットレートを変化させながらエンコードを行うことができます。音の変化の激しい部分ではビットレートを高くし、無音部分では低くエンコードするため、高い音質を保ちつつ、ファイルサイズの増大を押さえることが可能です。

MacMP3では、VBRエンコード時のビットレートの可変幅または平均値を

設定できますので、より最適なエンコードが行えます。しかし、VBR エンコードされたMP3ファイルの再生に対応していないプレーヤもありますので、注意が必要です。

Q: 再生しながらMP3ファイルへエンコードすると、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。

A: MacMP3はエンコードしながら再生することのできる最新の技術を採用しています。また、この機能はエンコード中のトラックをリアルタイムで再生するため、ある程度の処理能力が必要となります。音が飛ぶ、雑音が入るなどの現象が見られる場合は、再生を伴わないエンコードを行うようにしてください。

Q: MacMP3でエンコード中に編集したMP3ファイルのタグ情報が他のプレーヤで認識されませんでした。何か問題があるのでしょうか？

A: MP3ファイルをMacintoshやPCで再生する際、ID3v2タグがプレーヤに認識されないことがあります。再生の質には影響はありません。ほとんどの新しいMP3プレーヤはタグを正しく読み込みます。この点で問題のある場合は、お使いのMP3プレーヤの開発元に連絡してください。

一部のプレーヤ(特にDirectShowベースもしくは、Microsoft Media Playerより古いプレーヤ)は、ID3v2タグを含んだMP3ファイルを再生できない可能性があります。

また、MP3プレーヤの中には、タグ情報の表示に日本語をはじめとする2バイト文字が使えないものがあります。こういったプレーヤで2バイト文字のタグ情報を持つMP3ファイルを再生すると、文字化けしてしまいますのでご注意ください。

Q: ID3タグ情報の入力が終わる前にエンコードを終えてしまいました。また、間違ったタグ情報を入力してしまったMP3ファイルもあります。これらのタグ情報を修正することは可能でしょうか？

A: MacMP3プレーヤのツールメニューから“MP3情報エディタ”を選択し、タグ情報の編集画面にMP3ファイルをドラッグすると、タグの編集が行えます。

またこのエディタでは、好感度やカバーアートなど、エンコード時に設定で

---

きる以外のID3タグ情報を追加することもできます。タグ情報を修正／追加したいMP3ファイルをプレイリストウインドウ内で選択後、ツールメニューから“MP3情報エディタ”を選択しても同様の操作が可能です。

いずれの場合も、1つのファイルのタグを編集する場合はすでに持っているタグ情報が編集画面に表示され、追加／変更後に“保存”または“保存&閉じる” ボタンをクリックすることで変更が反映されます。複数ファイルのタグ編集を行う場合は、すべてのファイルに共通した情報の部分だけを入力し、他は空欄のままで“保存”または“保存&閉じる” ボタンをクリックしてください。空欄にした部分の情報には変更を加えず、入力部分の情報だけを一括で更新することができます。

なお、再生中のMP3ファイルのタグ情報の編集は正常に行えない場合がありますので、必ず再生を停止した上でタグ情報の編集を行うようにご注意ください。

Q: ドラッグ&ドロップでのエンコード時に表示される“エンコード設定”パネルを表示させないようにするにはどうしたらいいですか？

A: “MacMP3設定”コントロールパネル内の“常にエンコード設定を開く”チェックボックスをオフにすることで、エンコード開始時に“エンコード設定”パネルを表示させないように設定することができます。

特定の設定でエンコードを行うことがほとんどだという方は、このオプションをオフにしておくことをおすすめします。設定を変更したい場合には、エンコードを開始する前に“MacMP3設定”コントロールパネルでこのオプションをオンにすることで、エンコード時に再び“エンコード設定”パネルを表示させることができます。

Q: MacMP3をインストールした後、システム起動時にフリーズするようになりました。

A: まず、機能拡張マネージャを使用し、“MacMP3機能拡張”をロードしない設定で起動した場合は正常に起動できるかどうかを確認してください。この設定で起動できた場合、“MacMP3機能拡張”が他の機能拡張書類などとコンフリクトしていることが考えられます。可能であれば、何と一緒にロードしたときにフリーズが発生するかを調べ、アクト・ツォサポートセンターまで

お知らせください。次期バージョン以降の開発に役立てさせていただきます。

なお、“MacMP3機能拡張”をシステムから外した場合、音楽CDから自動的にMP3ファイルを作成することや、エンコード時にCDDDBを自動検索することはできなくなりますが、“MacMP3 v.3フォルダ”内の“MacMP3エンコーダ”アプリケーションにトラックをドラッグすることでエンコードが行えます。また、ダブルクリックでこのアプリケーションを起動し、表示されるウィザード画面からエンコードを行うことでコンフリクトに対処していただくのも1つの方法です。

Q: MacMP3で作成したMP3ファイルを、Windowsで聞くことはできますか？

A: 可能です。ただし、Windowsでは拡張子でファイルを判別するので、エンコード後のMP3ファイルの名称の末尾に“.mp3”という拡張子が付いていることを必ず確認してください。

Q: CDエクストラ(エンハンスドCD)の音楽CDからMP3ファイルを作成することはできますか？

A: CDエクストラのエンコードに関する手順は通常の音楽CDと異なりますので、「第4章:エンコードについて」の「エンコード方法7」を参照してください。

また、CDモードを使用してCDエクストラの再生を行うことは可能ですが、ツールメニュー内の“この曲をMacMP3でエンコード”や“このCDをMacMP3でエンコード”を使用してエンコードすることはできませんのでご注意ください。

Q: 複数枚の音楽CD情報をCDDDBからまとめて取得することは可能ですか？

A: MacMP3は、一度取得した音楽CD情報をシステムに保存します。ですから、インターネットに接続した状態で一度お手元のCDをすべてマウントし、CDDDBから情報を取得しておく、以後それらの音楽CDを聴いたり、MP3ファイルを作成する度に取得した情報を反映させることができます。インターネットに常時接続できる環境がない場合に非常に有効です。

---

Q: インターネット上から入手した合法的なMP3ファイルをMacMP3で再生しようとしたが、「MPEGオーディオファイルではありません」というアラートが表示され、再生できません。

A: MacMP3のプレーヤを使うと、MacMP3以外で作成されたMP3ファイルも再生することができます。しかし、ごくまれに再生できないファイルがあるかもしれません。その理由として、何らかの理由でそのMP3ファイルが壊れてしまった可能性が考えられます。MP3ファイルの公開者もしくは作成者に問い合わせるか、もしくは他のMP3ファイルでお試してください。

### その他：

Q: StuffIt DeluxeやDropStuffでMP3ファイルを圧縮しましたが、全く圧縮されませんでした。なぜですか？

A: MP3の魅力は音質がCD並みに良いにもかかわらず、ファイルサイズが非常に小さいということです。これは、MP3が圧縮を伴って作成されるフォーマットであることを意味します。一般的に、既に圧縮されたフォーマットのファイル(JPEG画像等)を圧縮してもほとんど効果が得られませんが、MP3ファイルも同様だと考えてください。

Q: シリアル番号を入力してもインストールできません。

A: まず、シリアル番号は半角文字で入力されているかをご確認ください。シリアル番号は、ユーザ登録カードに記載されたシリアル番号を半角文字で正しく入力してください。また、“会社”欄は空欄でもかまいませんが、“名前”欄には必ず3文字以上入力していただく必要があります。それらのことを確認してもシリアル番号が入力できない場合は、弊社テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。



---

## 第 8 章:テクニカルサポート

### ユーザ登録

ご購入後、速やかにユーザ登録を行ってください。登録を済ませた正規ユーザの方には、ユーザサポート、テクニカルサポート、アップグレードなどのサービスを提供させていただきます。登録されていない方はこれらのサービスを受けられない場合がございますのでご注意ください。

### 登録方法

パッケージに同梱されている「ユーザ登録カード」に必要事項をご記入の上、切手を貼り、郵便にてご返送ください。必要事項にご記入漏れ、書き間違いなどあった場合、ご登録できない場合がございますのでご注意ください。

### サポート窓口

アクト・ツー サポートセンター

URL: <http://www.act2.co.jp/>  
E-mail: [support@act2.co.jp](mailto:support@act2.co.jp)  
FAX: 03-3328-8454  
TEL: 03-3328-8431

受付電話時間

祝祭日を除く平日 10:00～12:00 / 13:00～16:00

### サポートセンターへのお問い合わせ

このガイドに記載されている情報で解決できない問題が発生した場合、下記の情報をご用意の上、サポートセンターへご連絡ください。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ユーザID                | <input type="checkbox"/> 製品名ならびにバージョン番号    |
| <input type="checkbox"/> 製品の登録番号(シリアル番号)      | <input type="checkbox"/> お使いのMacintoshの機種名 |
| <input type="checkbox"/> お使いのMacOSのバージョン      | <input type="checkbox"/> 搭載メモリ容量           |
| <input type="checkbox"/> お客様のご連絡先             | <input type="checkbox"/> 問題の発生手順           |
| <input type="checkbox"/> 関連があると思われる周辺機器の種類、型番 | <input type="checkbox"/> 最近インストールしたソフトウェア  |

※ お電話でご連絡頂く場合、可能であればMacintoshを操作できる状態でご連絡ください。



**act2**  
<http://www.act2.co.jp/>